U6ファミリー 1,400人アンケート

（『６才以下のお子様に関するアンケート』報告書 ）

2017年11月
自由学園　U6プロジェクト

本アンケート調査について

2014年、現代の6才以下の子どもを持つ家庭と、その子どもの生活をみつめ 、望ましい幼児教育と生活の考え方を整理し、実践プランを策定する目的で、婦人之友社・全国友の会・自由学園の3団体の協力の下に「U6プロジェクト」が始まりました。
自由学園ではこのプロジェクトを進めるにあたり、現代の6才以下の子どもを持つ家庭の現状把握を目的に、6才以下の子どもを持つ保護者を対象にアンケート調査を実施しました。
本レポートは、このアンケート調査の結果をまとめたものです。

私たちは、日々の生活の積み重ねが子どもの健全な成長を形成すると考えています。
子どもの日常生活の過ごし方や、最も身近な大人である「母親・父親」との関わりの実態を把握すべく、
本アンケートでは、子どもとの関わり・育児や家事の取り組み・育児に対する不安や悩み、子どもの遊びなど、様々な生活シーンでの実情を確認しています。
また、アンケート結果をよりリアルに理解し、6才以下の子どもを持つ母親・父親の姿についてプロジェクトメンバー共通の理解を持つため、母親・父親を対象とした座談会も開催しました。
これらの結果からは、子どもとの関わりに自信が持てない母親や父親、IT機器に乳児期より接している子どもなど、今の時代ならではの悩みや生活実態が明らかになりました。また、女性の社会進出が一般化した今の時代においても、母親・父親の根強い役割意識にとらわれている課題もみえてきました。
本報告書のアンケート結果が、子どもとの関わりや父母間のパートナーシップのあり方について、考えるきっかけになれば幸いです。

※本アンケートの結果の一部は、2017年11月22-23日に自由学園にて開催される「おさなご発見 U6ひろば」にパネル展示予定です。また、同報告書のPDFデータは、以下のサイトにも紹介されています。
https://www.jiyu.ac.jp/event/u6/program/u6_qr.pdf

U6プロジェクト　アンケートチーム

本アンケートから見える課題と、解決に向けた考察

本アンケートおよび座談会の結果から浮き彫りになった、現代の6才以下の子どもを持つ家庭が抱える課題と、解決のための視点を、以下にまとめました。U6プロジェクトでは、解決に向けて各家庭がアクションするにあたり、保護者への意識づけや実践例の共有を推進していきます。

1 子どもとの関わりを時間量で捉える傾向

母親（有職）は「子どもと接する時間が短い」点に悩み、母親（専業主婦）は「子どもと過ごす時間は多いが、キチンと向き合えていない」点に悩む。

【解決に向けて必要な視点】

関わりを時間の量ではなく「質（深さ）」でとらえ、親子共に満足が得られる関わりのあり方を模索する。
過ごす時間が短くても、限られた時間内の親子の心の交流や、一生思い出に残るひとときを持つことを重視する。
子どもとの深い関わりは、母親のみならず父親や他者でも担えるし、関わり方のスタイルも各家庭で異なってよい。

2 母親の育児・家事の負担が依然と高い

職の有無を問わず、母親の育児家事の実施率が高く、本人が認識する負担感も高い。
また、外部サービスの利用も少なく、母親の負担軽減に寄与していない。

女性の就業率が高まる近年でも、「母親（女性）が育児・家事を行う」という根強い役割意識に、女性も男性もとらわれており、母親の負担の高さの根底にうかがえる。

【解決に向けて必要な視点】

家族全員が当事者として育児・家事に関心を持つことが重要。そのため、自分が出来ることを考え実行する。
父親・母親が、育児・家事作業を分担するシーンが家庭内で増えることが、次世代の子ども達に向けた“生きた教育（仕事・育児・家事における役割意識の払しょくや、より良いパートナーシップの醸成）“につながる。
就業スタイルや生き方が様々な現代、家事育児の分担は家庭によって様々でよい。

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

本アンケートから見える課題と、解決に向けた考察

3

子どもが中心となれる遊び、自然の中でのリアルな体験機会の減少

親がスマートフォンやタブレットなどのIT機器を子どもに見せたり使わせるケースが多く、0-2才の子どもでも過半数がIT機器に触れている。

また、母親（有職）や父親は屋外で自然と親しむ活動が少なかったり、子どもをショッピングセンターで遊ばせる実態など、子どもの遊びが親のライフスタイルや事情に影響・制約を受けている。

【解決に向けて必要な視点】

子どもが中心になれる遊び、自然の中での体験は、時間や場所など周辺環境の制約を受けるため十分な対応が難しいかもしれない。

しかし、子どもの感性を豊かに育む経験や、本物に触れさせる経験が、乳幼児期には重要。IT機器の性質をよく見極めた上で、適切な利用となるよう親子で約束やルールを決めるなどの取り組みが有効といえる。

近隣や郊外の公共機関や団体等でのイベントなども活用し、子どもが存分に遊べる機会を得ることも有効。子どもの興味・関心の対象や、子どもが遊び挑戦する様子を通して、子どもが自由に遊ぶ大切さや、子どもが本来持つ力を親が見つけることも重要。

また、子どもの遊び場などを通じて大人同士がつながり、育児について語れる仲間を得たり、ネットワークをさらに拡大することにもつながる。

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

目 次

調査概要・回答者属性 p.4

Ⅰ. 母親・父親の実態 p.10
- サマリー p.11
- 育児への関わり p.12
- 育児分担 p.14
- 家事分担 p.16
- パートナー以外の育児分担 p.18
- パートナーに対する育児・家事への関わりの期待 p.19
- 家族がそろう時間 p.21
- 育児を話題にする相手 p.23
- 育児の悩み・困りごと p.26

Ⅱ. 育児の実態 p.32
- サマリー p.33
- 読み聞かせ p.34
- IT機器の利用 p.35
- 運動遊び・自然に親しむ活動 p.39
- 遊び場 p.41
- 子どもの手伝い p.42

付記 U6保護者の座談会 発言概要 p.47

調査概要・回答者属性

『６才以下のお子様に関するアンケート』実施概要

■実施目的
6才以下の子どもを持つ母親・父親を対象に、
・育児に対してどのような不安や悩みを抱えているか
・子どもの遊びや食事など日常生活はどのように送られているか
の実態を把握し、6才以下の子どもを持つ家庭に、どのようなサポートが有効かの検討につなげる。

■実施形態
Webアンケート（パソコンからアクセスして回答）

■調査対象者　1,427名
・友の会会員および紹介者、自由学園関係者（卒業生など）、婦人之友社webモニターなど　1,127名
・調査会社保有のモニター　300名

※属性構成はp.11を参照

■実施時期
2015年2月～3月

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

アンケート回答者属性①

■年代別では30代が最も多く58%、次いで40代が36%となっており、これらの世代で全体の約95%。

■性別では女性が8割弱。

あなたの年齢をお知らせください。／才（ＮＵ）

【件数】 【構成比】

	全体 n=1,427	全体
20代	56	3.9%
30代	**831**	**58.2%**
40代	**509**	**35.7%**
50代	16	1.1%
60代	2	0.1%
不明（1～11才）	13	0.9%
全 体	1,427	100%

あなたの性別をお知らせください。（ＳＡ）

【件数】 【構成比】

	全体 n=1,427	全体
父親	303	21.2%
母親	**1,124**	**78.8%**
全 体	1,427	100%

あなたのお住まいの地域をお知らせください。（ＳＡ）

【件数】 【構成比】

	全体 n=1,427	全体
北海道	50	3.5%
青森県	10	0.7%
岩手県	7	0.5%
宮城県	25	1.8%
秋田県	8	0.6%
山形県	3	0.2%
福島県	8	0.6%
茨城県	31	2.2%
栃木県	14	1.0%
群馬県	22	1.5%
埼玉県	66	4.6%
千葉県	135	9.5%
東京都	266	18.6%
神奈川県	97	6.8%
新潟県	16	1.1%
富山県	8	0.6%
石川県	1	0.1%
福井県	2	0.1%
山梨県	5	0.4%
長野県	31	2.2%
岐阜県	15	1.1%
静岡県	41	2.9%
愛知県	83	5.8%
三重県	33	2.3%

	全体 n=1,427	全体
滋賀県	8	0.6%
京都府	28	2.0%
大阪府	81	5.7%
兵庫県	96	6.7%
奈良県	23	1.6%
和歌山県	6	0.4%
鳥取県	6	0.4%
島根県	1	0.1%
岡山県	17	1.2%
広島県	34	2.4%
山口県	11	0.8%
徳島県	9	0.6%
香川県	9	0.6%
愛媛県	14	1.0%
高知県	4	0.3%
福岡県	37	2.6%
佐賀県	7	0.5%
長崎県	20	1.4%
熊本県	8	0.6%
大分県	8	0.6%
宮崎県	6	0.4%
鹿児島県	11	0.8%
沖縄県	6	0.4%
全 体	1,427	100%

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

アンケート回答者属性②

■就労形態は「専業主婦」が45%、次いで「フルタイム」が37%、「パートタイム」が11%。子育てに専念しているか、フルタイムで復職しているか、大きく二分される。

■子の人数は、「1人」「2人」がそれぞれ4割、残りが3人以上。同居の家族は「配偶者」が別居も含めてほぼ全員、次いで「子供（２～６歳以下）」が84%、「子供（０～１歳以下）」「子供（7～12歳以下）」がそれぞれ3割強。

家族構成は、夫婦＋2～6歳＋その上の子または下の子　の核家族が多い模様。

あなたの就労形態をお知らせください。（ＭＡ）

	【件数】 全体 n=1,427	回答者性別 母親 n=1,124	回答者性別 父親 n=303	【構成比】 全体	回答者性別 母親	回答者性別 父親
フルタイム	**526**	**264**	**262**	**36.9%**	**23.5%**	**86.5%**
パートタイム	157	149	8	11.0%	13.3%	2.6%
自営業	79	48	31	5.5%	4.3%	10.2%
専業主婦（主夫）	**649**	**649**	**0**	**45.5%**	**57.7%**	**0.0%**
学生	5	4	1	0.4%	0.4%	0.3%
その他	36	32	4	2.5%	2.8%	1.3%
全　体	1,452	1,146	306	-	-	-

あなたと同じ家で生活しているご家族をお知らせください。（ＭＡ）

	【件数】 全体 n=1,427	【構成比】 全体
配偶者	**1,368**	**95.9%**
配偶者が転勤等で別居中の場合はこちらをチェック	32	2.2%
子供（０～１歳以下）	**438**	**30.7%**
子供（２～６歳以下）	**1,199**	**84.0%**
子供（７～１２歳以下）	**465**	**32.6%**
子供（１３～１５歳以下）	57	4.0%
子供（１６歳以上）	16	1.1%
配偶者の親	58	4.1%
自分の親	68	4.8%
自分のきょうだい	11	0.8%
その他	20	1.4%
全　体	3,732	-

一緒に住んでいるお子様の人数をお知らせください。（ＳＡ）

	【件数】 全体 n=1,427	【構成比】 全体
１人	**563**	**39.5%**
２人	**594**	**41.6%**
３人	204	14.3%
４人以上	66	4.6%
全　体	1,427	100%

一緒に住んでいるお子様の人数をお知らせください。／４人以上（ＮＵ）

	【件数】 全体 n=66	【構成比】 全体
４人	51	77.3%
５人	9	13.6%
６人	2	3.0%
７人	4	6.1%
全　体	66	100%

©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

アンケート回答者属性③

■子どもの年齢の構成比は、0-2才：3-6才＝3:7。

■男女比は半々、続柄では「長子」が全体の約2/3を占める。

対象となるお子様の年齢をお知らせください。／才（ＮＵ）

	【件数】 全体 n=1,427	【構成比】 全体
0才	86	6.0%
1才	135	9.5%
2才	175	12.3%
3才	198	13.9%
4才	300	21.0%
5才	309	21.7%
6才	224	15.7%
全 体	1,427	100%

お子様の性別をお知らせください。（ＳＡ）

	【件数】 全体 n=1,427	【構成比】 全体
女子	706	49.5%
男子	721	50.5%
全 体	1,427	100%

お子様の続柄をお知らせください。（ＳＡ）

	【件数】 全体 n=1,427	【構成比】 全体
長子（１人目のお子様）	**927**	**65.0%**
二子	353	24.7%
三子	125	8.8%
上記以外	22	1.5%
全 体	1,427	100%

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

アンケート回答者属性④

■全体では「自身が友の会会員」は25%。友の会会員においては、母親（専業主婦）で特に会員の割合が高く、4割以上。
友の会会員からの紹介も多く、ネットワークの強さがうかがえる。

今回のアンケート調査を、あなたはどのような経路で知りましたか。もっとも当てはまる項目をお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		【構成比】 回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
自身が友の会会員※	361	(2)	359	81	278	51	316	25%	(1%)	32%	18%	**43%**	13%	31%
友の会会員からの紹介	466	54	412	145	267	167	312	33%	18%	37%	32%	41%	42%	30%
自身が自由学園の在校生父母・卒業生等関係者	64	11	53	34	19	21	43	4%	4%	5%	8%	3%	5%	4%
自由学園からの紹介	89	8	81	25	56	22	67	6%	3%	7%	6%	9%	6%	6%
ホームページを見て	91	9	82	39	43	22	72	6%	3%	7%	9%	7%	6%	7%
調査モニター	300	200	100	100	0	86	214	21%	66%	9%	22%	0%	22%	21%
その他	141	21	120	46	74	41	101	10%	7%	11%	10%	11%	10%	10%
全　体	1,512	305	1,207	470	737	410	1,125	-	-	-	-	-	-	-

※友の会の会員は、女性のみとなります（父親の回答者2名は、パートナーが友の会会員などの理由が推測されます）

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

Ⅰ. 母親･父親の実態

Ⅰ．母親･父親の実態　*Summary*

◆子どもとの関わりを時間量でとらえる傾向

母親（有職）は、生活の基本的な育児・家事は母親（専業主婦）と同様にこなしているものの、「子どもとじゅうぶん関われている」自覚を持つ割合が少ない現状が浮き彫りとなった。そして、父親で「子どもとじゅうぶん関われている」との回答はさらに低く、わずか8%にとどまった。
また、母親・父親や職の有無を問わず、全体的に子どもとの関わりを時間量でとらえており、とりわけ母親（有職）は（専業主婦に比べて）子どもと関わる時間が少ないという自責の念や、自分の関わりや育児がじゅうぶんかどうか分からない・自信がない様子がうかがえる。

◆今も変わらぬ母親の育児･家事の負担感

母親の方が、「育児を全て自分が担当している」と考え、父母それぞれが認識する育児の負担感にかい離がある。
父親が育児参加をしていても、パートナー（母親）はそれを認識しておらず、「全て自分がやっている」と認識している可能性がある。
家事分担は、育児分担よりさらに母親の負担割合が高い傾向がみられた。
また、母親（有職）・母親（専業主婦）いずれも、外部サービスの利用が進んでいない現状も明らかとなった。

◆母親は、パートナー（父親）に家事･育児にもっと関わってほしいと感じている

母親に家事・育児の負担が集中している現状から、母親はパートナーにもっと関わってほしいと思う一方、父親はパートナーのこれ以上の関与を求めていない。父親の回答背景には、「母親の、これ以上の関与は難しい」との思いがあると推測される。
また、家族全員が集まる時間はある程度確保されているが、父親の多忙や帰宅が遅いため、父親がそろうかどうかが、家族全員の時間確保のカギとなっている。

◆父親の半数弱が、育児の話し相手が居ない

母親は9割が「話題にできる相手がいる」と回答しているが、父親は半数強にとどまり、また相談相手も限られている現状が把握できた。

©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

子どもに「じゅうぶん関われている」と感じる母親（有職）は3割弱、父親はわずか8%にとどまる

- ✓ 子どもの育児に関われているかの質問に対し、「じゅうぶん関われている」の回答は母親（専業主婦）が51%の一方、母親（有職）は29%と、母親（専業主婦）の約半数強。生活の基本的な育児・家事は母親（専業主婦）同様にこなしているものの、「じゅうぶん関われている」と自覚できない現状が浮き彫りとなった。
- ✓ さらに父親は「じゅうぶん関われている」の回答が8%と非常に低く、「かなり関われている」の回答を合わせても4割強にとどまる。過半数が「どちらともいえない～全く関われていない」と消極的な評価となった。
- ✓ 子ども年齢では、0-2才児の親の方が、3-6才児より「関われている」と感じている。0-2才児は母親（有職）も産育休をとるケースが多く、一緒にいる時間量が多い点が、「関われている」との認識につながったと推測される。
- ✓ 理由（自由回答・次ページ）を見ると、全体的に子どもとの関わりを時間量でとらえる傾向があり、「あまり関われていない・全く関われていない」理由には「仕事・忙しい・時間がない」などのワードが頻出している。母親（有職）は（専業主婦に比べて）子どもと関わる時間が少ないという自責の念や、自分の関わりや育児がじゅうぶんかどうか分からない・自信がない様子がうかがえる。父親は、就労のため、母親に比べて子どもと接する時間が少ない点の自覚があるが、母親に比べて自責の念や自信のなさはうかがえない。

あなたはお子様の育児にじゅうぶん関われていると思いますか。以下の中からあなたの気持ちにもっとも近い項目をお選びください。（ＳＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳※		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031
じゅうぶん関われている	497	23	474	129	335	178	319
かなり関われている	539	104	435	187	239	136	403
どちらともいえない	272	96	176	102	72	57	215
あまり関われていない	105	69	36	28	6	21	84
全く関われていない	14	11	3	2	1	4	10
全　体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031

【構成比】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳※		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
じゅうぶん関われている	35%	8%	42%	**29%**	**51%**	**45%**	31%
かなり関われている	38%	34%	39%	42%	37%	34%	39%
どちらともいえない	19%	**32%**	16%	23%	11%	14%	21%
あまり関われていない	7%	**23%**	3%	6%	1%	5%	8%
全く関われていない	1%	**4%**	0%	0%	0%	1%	1%
全　体	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（自由回答抜粋）子どもに「じゅうぶん関われている」「関われているかどうか分からない」の回答例

■子どもと「じゅうぶん関われている」と考える理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	じゅうぶんに関わらなければ、子供を働きながら育てるなんて無理
母親（有職）	0-2才	お互いの両親も遠く頼れる人がいないから。
母親（有職）	3-6才	平日の日中は、仕事のため一緒にいられないが、よい息抜きになり、一緒にいられる時間は、こどもと向き合うことができているから。
母親（専業主婦）	0-2才	常に一緒に過ごしているから。
母親（専業主婦）	3-6才	24時間共に過ごしているから。
母親（専業主婦）	3-6才	娘と離れているのは娘が幼児園にいる時間だけ、と断言できるほどいつも一緒にいる。苦ではないが、家の中でも私が2階にいけば、2階に追いかけてくるなど、ほぼ離れることがない。
父親（有職）	0-2才	母親とほぼ同等の影響を与えている
父親（有職）	3-6才	幼稚園の送迎を含めて、毎日見かける男親は居ません。私のみです。勉強や遊びの付き添いや話し相手にもなっているので、これ以上やりようがありません。
父親（有職）	3-6才	毎日、子供と十分会話していること。接する時間も長いと思うから。

■子どもと「関われているかどうか分からない」と考える理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	3-6才	自分なりに関わっているつもりだが、もっと良い関わり方もあるのではないかと気になっている。
母親（有職）	3-6才	正直 自信がないどこまでやれてるか よく分からない自分のできるようにやってるが 年齢が高く 仕事も持っているので子供には物足りないと思うので
母親（有職）	3-6才	日中は子供が保育園で過ごしているから。
母親（専業主婦）	3-6才	一緒にいる時間は長いが、積極的に子供と関わっているかと言われるとお友だちと遊んでいるのを他のお母さん方と話ながら見ているだけだったり、家事に追われて話をちゃんと聞いてあげられなかったりしているため。
母親（専業主婦）	3-6才	一緒にいる時間は長いが、きちんと向き合えているか自信がない。
母親（専業主婦）	3-6才	自分に自信がなくて、子どもを人任せにしたいと考えるときもあり、子どもと向き合えていないと感じるため。
父親（有職）	0-2才	休日しかまともに相手に出来ない。ただ、その分なるべくスキンシップを大事にしている
父親（有職）	0-2才	何処までが十分かがわからないので
父親（有職）	3-6才	客観的になかなか判断できない。

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

母親の方が、「育児を全て自分が担当している」と考える傾向にある

- ✓ 父母それぞれが感じる育児の分担度合は、母親は「80%以上」が59%、父親では「20%以下」が57%と、分担割合のとらえ方は母親・父親で大幅なズレはない。
- ✓ しかし、母親が「100%（ほぼ全て自分がやっている）」と回答する割合が23%いる一方で、父親の「0%（自分はほとんどやっていない）」回答は4%にとどまり、父母それぞれが認識する育児の負担感にかい離がみられる。
  父親が育児参加していても、パートナー（母親）はそれを認識しておらず、「ほぼ全て自分がやっている」と考えている可能性がある。
- ✓ 母親の職の有無で見ると、専業主婦の方が育児の負担割合は高め。しかし「ほぼ40%」以下の割合は有職・専業主婦でほぼ同じであり、大半を母親が負担している状況は変わらない。職の有無に関わらず、母親の方が「育児を全て自分が担当している」と考える傾向にある。

あなたは、日々の育児を、配偶者・パートナー、その他の方とどの程度の割合で日常的に分担していますか。
あなたが担当しているおおよその割合について、以下よりもっとも近い項目をお選び下さい。（ＳＡ）

【件数】 【構成比】

	回答者全体 n=1,427	父親全体 n=303	母親全体 n=1,124	母親内訳※ 有職 n=448	母親内訳※ 専業主婦 n=653	子ども年齢 0-2才 n=396	子ども年齢 3-6才 n=1,031	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳※ 有職	母親内訳※ 専業主婦	子ども年齢 0-2才	子ども年齢 3-6才
１００%（ほぼ全て自分がやっている）	257	3	254	71	178	68	189	18%	1%	**23%**	16%	27%	17%	18%
８０%以上	676	12	664	251	396	175	501	47%	4%	59%	56%	61%	44%	49%
ほぼ６０%	200	16	184	112	71	52	148	14%	5%	16%	25%	11%	13%	14%
ほぼ４０%	98	85	13	7	6	31	67	7%	28%	1%	**2%**	**1%**	8%	6%
２０%以下	183	174	9	7	2	67	116	13%	57%	1%	**2%**	**0%**	17%	11%
０%（自分はほとんどやっていない）	13	13	0	0	0	3	10	1%	**4%**	0%	**0%**	**0%**	1%	1%
全 体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

母親の方が育児の分担度合が高く、有職者も専業主婦に負けず育児を担当している

- ✓ 全ての項目において、父親より母親の育児担当度合が圧倒的に高い。父親が担当する育児項目では、「お風呂」「遊び相手」の2項目のみが、過半数を超えている。育児関連の項目のほとんどが、母親がメインで担当していることが分かる。
- ✓ 母親について見ると、育児の負担割合は専業主婦の方が全般的に高いものの、有職者との大きな差はない。育児においては、有職者が専業主婦に近いレベルで対応している（努力している）様子がうかがえる。

前問に引き続き、おうかがいします。あなたが日々の育児関連で日常的に担当していることについて、当てはまるものをすべてお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳※		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031
食事の補助	1,101	114	987	394	573	326	775
授乳	283	2	281	109	160	153	130
お風呂	1,106	208	898	344	535	306	800
オムツ替え・排泄の補助	895	122	773	281	474	352	543
遊び相手	1,206	221	985	368	597	360	846
見守り	1,137	129	1,008	372	614	318	819
寝かしつけ	1,037	80	957	378	559	307	730
しつけ	1,065	103	962	369	575	246	819
幼稚園や保育園・教室などへのお見送り	824	53	771	307	451	77	747
幼稚園や保育園・教室などのお迎え	843	38	805	340	452	87	756
幼稚園などの行事への参加	834	60	774	319	444	67	767
ＰＴＡへの参加	498	11	487	184	295	30	468
通院の付き添い	1,020	58	962	376	570	250	770
その他	61	11	50	15	33	19	42
何もやっていない	13	13	0	0	0	2	11
全　体	11,923	1,223	10,700	4,156	6,332	2,900	9,023

【構成比】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳※		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
食事の補助	77%	38%	**88%**	88%	88%	82%	75%
授乳	20%	1%	**25%**	24%	25%	39%	13%
お風呂	78%	**69%**	**80%**	77%	82%	77%	78%
オムツ替え・排泄の補助	63%	40%	**69%**	63%	73%	89%	53%
遊び相手	85%	**73%**	**88%**	82%	91%	91%	82%
見守り	80%	43%	**90%**	83%	94%	80%	79%
寝かしつけ	73%	26%	**85%**	84%	86%	78%	71%
しつけ	75%	34%	**86%**	82%	88%	62%	79%
幼稚園や保育園・教室などへのお見送り	58%	17%	**69%**	69%	69%	19%	72%
幼稚園や保育園・教室などのお迎え	59%	13%	**72%**	76%	69%	22%	73%
幼稚園などの行事への参加	58%	20%	**69%**	71%	68%	17%	74%
ＰＴＡへの参加	35%	4%	**43%**	41%	45%	8%	45%
通院の付き添い	71%	19%	**86%**	84%	87%	63%	75%
その他	4%	4%	**4%**	3%	5%	5%	4%
何もやっていない	1%	4%	0%	0%	0%	1%	1%
全　体	-	-	-	-	-	-	-

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

家事分担も育児同様に母親の負担割合が高い

- ✓ 前ページ同様、家事の分担度合は母親は「80%以上」が最も多く（52%）、父親では「20%以下」が最も多い（52%）。
- ✓ 具体的な家事分担内容（次ページ）を見ると、父親の半数以上が担当している家事は「ごみ捨て」のみ（次いで「お風呂洗い」が49%）。他は3～4割にとどまっており、育児同様に父親の担当割合が低い傾向がうかがえる。
- ✓ 父母間の分担割合のとらえ方も前ページの育児と同じ傾向だが、家事の方が母親の「100%（ほぼ全て自分がやっている）」と父親の「0%（自分はほとんどやっていない）」の回答割合が大きい。
  （育児では 母親「100%担当」23%、父親「0%担当」4% に対し、家事では母親「100%担当」32%、父親「0%担当」13%）
  育児作業の方が、父親は多少なりとも参画していると（自分では）思っている。
- ✓ 母親の職の有無で見ると、専業主婦の負担率が高いが、有職も9割以上が「ほぼ60%」以上を担当。育児同様、職の有無に関係なく母親の負担率が高い。

あなたは、日々の家事を、配偶者・パートナー、その他の方とどの程度の割合で分担していますか。
あなたが担当しているおおよその割合について、以下よりもっとも近い項目をお選び下さい。（ＳＡ）

【件数】 【構成比】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
	n=1,427	n=303	n=1,124	有職 n=448	専業主婦 n=653	0-2才 n=396	3-6才 n=1,031				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
１００%（ほぼ全て自分がやっている）	358	3	355	100	247	80	278	25%	1%	**32%**	**22%**	38%	20%	27%
８０%以上	592	10	582	229	341	158	434	41%	3%	52%	**51%**	52%	40%	42%
ほぼ６０%	163	17	146	86	57	49	114	11%	6%	13%	**19%**	9%	12%	11%
ほぼ４０%	101	76	25	21	4	38	63	7%	25%	2%	5%	1%	10%	6%
２０%以下	171	159	12	10	2	59	112	12%	52%	1%	2%	0%	15%	11%
０%（自分はほとんどやっていない）	42	38	4	2	2	12	30	3%	**13%**	0%	0%	0%	3%	3%
全 体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

家事分担も育児同様に母親の負担割合が高い

前問に引き続き、おうかがいします。あなたが日常的に担当している家事について、当てはまるものをすべてお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		【構成比】 回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
朝食の用意	1,065	40	1,025	390	616	277	788	75%	13%	91%	**87%**	94%	70%	76%
夕食の用意	1,107	25	1,082	412	647	294	813	78%	8%	96%	**92%**	99%	74%	79%
お弁当作り	806	9	797	278	504	132	674	56%	3%	71%	62%	77%	33%	65%
食事の片づけ	1,148	125	1,023	378	625	298	850	80%	41%	91%	**84%**	96%	75%	82%
洗濯	1,117	77	1,040	390	629	289	828	78%	25%	93%	**87%**	96%	73%	80%
洗濯物干し	1,099	100	999	361	618	281	818	77%	33%	89%	**81%**	95%	71%	79%
掃除	1,132	110	1,022	380	623	293	839	79%	36%	91%	**85%**	95%	74%	81%
整理整頓	1,078	94	984	359	603	286	792	76%	31%	88%	**80%**	92%	72%	77%
買い物	1,160	109	1,051	405	627	303	857	81%	36%	94%	**90%**	96%	77%	83%
お風呂洗い	974	147	827	295	517	246	728	68%	49%	74%	66%	79%	62%	71%
ごみ捨て	810	209	601	212	377	187	623	57%	**69%**	53%	47%	58%	47%	60%
介護	22	0	22	11	10	3	19	2%	0%	2%	2%	2%	1%	2%
その他	50	15	35	15	19	12	38	4%	5%	3%	3%	3%	3%	4%
何もやっていない	28	27	1	1	0	12	16	2%	9%	0%	0%	0%	3%	2%
全　体	11,596	1,087	10,509	3,887	6,415	2,913	8,683	-	-	-	-	-	-	-

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

職の有無に関わらず、外部サービスの利用は進んでいない

✓「頼んでいない」が最も多く、全体の7割弱（外部の助けがより必要と思われる母親（有職）でも6割弱）。
分担先は「祖父母」が全体の1/4を占め、その他は数パーセントにとどまる。

身内＋子育て経験者＋仕事からリタイアしている＝頼りやすい祖父母にヘルプが集中しており、祖父母以外の身内や外部サービスにはなかなか頼れない現状がみられる。

日々の育児や家事を、配偶者、パートナー以外で分担していることはありますか。
利用しているサービスや、関わっている親族などがいれば、当てはまるものをすべてお選びください。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
祖父母	372	69	303	157	144	114	258	26%	23%	27%	**35%**	22%	29%	25%
兄弟姉妹	57	11	46	18	27	23	34	4%	4%	4%	4%	4%	6%	3%
祖父母・兄弟姉妹以外の親戚	16	5	11	3	8	9	7	1%	2%	1%	1%	1%	2%	1%
ベビーシッター	11	1	10	7	3	3	8	1%	0%	1%	2%	0%	1%	1%
ファミリー・サポート・センター	31	5	26	12	13	8	23	2%	2%	2%	3%	2%	2%	2%
その他	58	2	56	22	33	18	40	4%	1%	5%	5%	5%	5%	4%
頼んでいない	960	223	737	259	459	255	705	67%	74%	66%	**58%**	70%	64%	68%
全　体	1,505	316	1,189	478	687	430	1,075	-	-	-	-	-	-	-

【構成比】

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

母親は父親に家事・育児にもっと関わってほしいと思っている

- ✓ 母親は51%が、パートナー（父親）に対して育児・家事にもっと関わってほしいと「とても思っている・思っている」のに対し、父親は55%が、パートナー（母親）にもっと関わってほしいと「思っていない・全く思っていない」と、反対の結果となった。母親に家事・育児の負担が集中している現状から、母親はパートナーにもっと関わってほしいと思う一方、　　父親は「母親はこれ以上の関与は難しい」との思いから、関わらなくてよいとの回答に至ったと推測される。

- ✓ 母親の職の有無では大きな差はなく、母親自身の時間的な忙しさと、「パートナーにどこまで求めるか」には対応関係がないことが分かる。

- ✓ 家事・育児でもっと関わってほしいかかどうかの理由（自由回答：次ページ）では、「関わってほしい」との回答者は現状に不満、「関わってほしいと思わない」との回答者は現状に満足する様子が述べられている。　　しかし、「関わってほしいと思っている」中には「（関わってほしいが）仕事が忙しいのでなかなか難しい」など、実態とのギャップをうかがわせる回答も目立つ。

- ✓ 同じく関わってほしい理由には、時間的な忙しさや密室育児・ワンオペ育児※のつらさを助けてほしいだけでなく、　　「父親として主体的に関わってほしい」など、育児に不可欠な存在としての関わりを求めたり、主体的に関わる大変さを分かち合いたい声も寄せられている。

※ワンオペ育児：1人で育児の全てをこなさなければならない状態を指す言葉

あなたは、配偶者・パートナー、その他の方に育児・家事にもっと関わってほしいと思っていますか。以下の中からあなたの気持ちにもっとも近い項目をお選びください。（ＳＡ）

【件数】　　【構成比】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
とても思っている	213	8	205	84	115	59	154	15%	3%	**18%**	19%	18%	15%	15%
思っている	395	28	367	159	203	108	287	28%	9%	**33%**	35%	31%	27%	28%
どちらともいえない	394	100	294	98	189	96	298	28%	33%	26%	22%	29%	24%	29%
思っていない	319	100	219	87	131	89	230	22%	**33%**	19%	19%	20%	22%	22%
全く思っていない	106	67	39	20	15	44	62	7%	**22%**	3%	4%	2%	11%	6%
全　体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

（自由回答抜粋）「育児に関わってほしいと思っている」「関わってほしいと思っていない」 理由

■「関わってほしいと思っている」理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	ずっと二人きりでつらい。週末休みたくても家事に追われている。
母親（有職）	3-6才	自分の負担が大きすぎて、時々精神的に参ってしまう。そうすると、夫もしくは子どもにイライラの矛先が向いてしまう。
母親（有職）	3-6才	配偶者が、育児は母親の役目で自分は手伝いだと思っているから、主体的に関わってほしい。
母親（専業主婦）	0-2才	気持ち的にも時間的にも、私の負担が大きいと感じることが多いため実質、私一人で子育てをしている状態となっており、責任を感じるため
母親（専業主婦）	0-2才	心身ともに疲れ切るから子どものためにも色んな大人が関わってほしいから
母親（専業主婦）	3-6才	仕事が忙しいのはわかるけど、夫婦の子供なんだから、もう少し子育てに参加してくれてもよいと思う。
父親（有職）	0-2才	時間がないことを理由に、家事が疎かになってしまうことがある。
父親（有職）	0-2才	家事に関してはあまり思わないが、育児に関してはいろいろな人に関わってもらった方が、子の成長には良いと思う。
父親（有職）	3-6才	妻は専業主婦なのでもう少し家事に力を入れてほしい

■「関わってほしいと思っていない」理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	仕事が忙しい中で十分に父親としての責任、子供との関わり、私へのフォローなど果たしてくれていると私自身が満足しているから。
母親（有職）	0-2才	夫婦お互いの家にいる時間を比較すると、今の割り振りが妥当だと思っているし、不満もないから
母親（有職）	3-6才	希望しても不可能なので、諦めている。現在、病気を抱えて、仕事、家事、育児をしているが、それを理解しているような口ぶりをしていて、支援もないため。
母親（専業主婦）	0-2才	本人ができる範囲で十二分に子供を愛し、育児にかかわり、私のフォローをしてくれていると思っているので。
母親（専業主婦）	3-6才	きちんと働き、生活費を稼いできてくれているため、安心して生活ができている。心から感謝している。
母親（専業主婦）	3-6才	専業主婦として家におり、主人や両親も仕事をしているので、更に関わって欲しいとは思っていない。
父親（有職）	0-2才	ちょうど良い割合だと思う。共働きになった場合は自分がもっと関わらなくてはいけないと思う
父親（有職）	0-2才	お互いの両親が遠いため、仕事を変えない限り家族の助けを求めるのは難しい。
父親（有職）	3-6才	妻は十分育児・家事をやってくれているため。

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

家族全員が集まる時間はある程度確保されている、父親の時間確保が重要

- ✓ 全体では約2/3が「じゅうぶん」「やや」確保できているが、一方で「あまり」「全く」確保できていない人も1/4強。
  「どちらとも言えない」は1割弱と少なく、家族が集まる時間が確保できる・できない状況がはっきり分かれることが分かる。
- ✓ 父母、職の有無では回答に大きな差はく、家族がそろう時間の確保を重視し実践していると推測される。
- ✓ 確保できている・できていない理由（次ページ）を見ると、
  ・確保できている＝「父親が早く帰宅する、休みがとれている」
  ・確保できていない＝「父親が多忙、帰宅が遅い」
  を挙げる回答が多い。父親がそろう時間を確保できるかが、家族全員がそろう時間確保に重要といえる。

あなたのご家庭では、家族全員そろう時間が確保できていますか。以下よりもっとも当てはまるものをお選び下さい。（ＳＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
	n=1,427	n=303	n=1,124	有職 n=448	専業主婦 n=653	0-2才 n=396	3-6才 n=1,031				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
じゅうぶん確保できている	306	71	235	90	141	104	202	**21%**	23%	21%	20%	22%	26%	20%
やや確保できている	623	126	497	204	286	166	457	**44%**	42%	44%	46%	44%	42%	44%
どちらともいえない	130	36	94	40	50	30	100	9%	12%	8%	9%	8%	8%	10%
あまり確保できていない	343	61	282	107	167	93	250	**24%**	20%	25%	24%	26%	23%	24%
全く確保できていない	25	9	16	7	9	3	22	2%	3%	1%	2%	1%	1%	2%
全　体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（自由回答抜粋）家族がそろう時間を「確保できている」「確保できていない」 理由

■「確保できている」理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	自分が育休で、旦那の仕事が終わるのが早い
母親（有職）	0-2才	父親が在宅で仕事をしているため確保できている
母親（有職）	3-6才	共働き家庭なので、朝食はみんなでと決めているので、その時間が守れれば平日については家族全員そろう時間が確保出来ているという認識
母親（専業主婦）	0-2才	夫が自営業のため、時間の自由が効きやすいため、夜遅くならずに帰ってこれるから。
母親（専業主婦）	0-2才	配偶者の勤務時間が長いが、平日はなかなか一緒にはいる時間は少ないが、毎朝一緒の食卓に座ることは心がけている。
母親（専業主婦）	3-6才	専業主婦であり、主人も土日休みの仕事なので、問題なく時間が取れている
父親（有職）	0-2才	残業がなく定時で終業、帰宅できるため。
父親（有職）	3-6才	仕事から早く帰るようにこころがげているため。
父親（有職）	3-6才	朝食は家族全員で。土日も可能な限り一緒に過ごしている。

■「確保できていない」理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	フルタイムで両親共に働いている為、全員が揃えるのは朝食と、休日のみである。
母親（有職）	0-2才	夫の深夜残業と、私の職場が遠いこと、勤務する曜日が合わないこと。
母親（有職）	3-6才	私は家族全員が起きる前に出勤し、子供の夕食が終わる頃に帰宅します。夫はさらに帰りが遅いです。
母親（専業主婦）	0-2才	主人の帰りが23時になるので、朝の1時間くらいしか家族揃うことが出来ない。
母親（専業主婦）	0-2才	配偶者が帰宅が夜１０時過ぎで、休みの日しか子供と一緒に過ごせない。
母親（専業主婦）	3-6才	夫の仕事が忙しい時期は夫と子どもの生活時間がずれ、朝の20分程しか顔を合わせない日もある。
父親（有職）	0-2才	自分の仕事が多忙なため。緊急対応などがあり予定変更が多いため。
父親（有職）	0-2才	平日は終業時間が遅く、子供が先に寝てしまう事が多く、休日は自身の趣味で外出が多い
父親（有職）	3-6才	就業時間が長いため、朝しか家族との時間がとれない。

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

父親は半数弱、母親（有職）は1割以上で育児の話し相手がいない

- ✓ 全体では8割強が「話題にできる相手がいる」と回答。
- ✓ 母親は9割が「話題にできる相手がいる」と回答しているが、父親は半数強にとどまる。
  また母親の中でも、母親（専業主婦）7%に対して、母親（有職）は12%が「いない」と回答。
  育児負担率の低い父親はそれほど困る事態はないとみられるが、専業主婦同様に育児をこなす母親（有職）は、相談相手がいないことで困っている可能性がある。
- ✓ 回答結果（次ページ）を見ると、相談相手が最も豊富なのは母親（専業主婦）で、「地域」「子どもを通じたつながり」も多いのが特徴。
  父親は母親に比べて「配偶者」以外の相談相手が少ない傾向がある。父親は相談相手が限られ、育児の悩みやパートナーとの意見の相違といった問題が起きたときに、多様な意見が聞けない可能性も考えられる。
- ✓ 子ども年齢別では、0-2才で「ネットの情報」が比較的多い。子どもが小さいうちは人に相談したくても行動が限られるため、ネットの利用率が高くなると考えられる。

あなたは、仕事の同僚・サークル仲間・参加グループなど、ご自身の活動における知人の中に、気軽に子育てについて話題にできる相手がいますか。（ＳＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
いる	1,183	164	1,019	393	605	315	868	83%	**54%**	**91%**	88%	93%	80%	84%
いない	244	139	105	55	48	81	163	17%	46%	9%	**12%**	**7%**	20%	16%
全 体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

父親は母親と比べて相談相手が限られる傾向

あなたには、子育てで困った時に、相談したり助けてもらえる存在はいますか？いる場合、当てはまる項目すべてをお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
配偶者	1,242	264	978	387	570	342	900	87%	87%	87%	86%	87%	86%	87%
自分の父母	1,017	172	845	329	496	310	707	71%	57%	75%	73%	76%	78%	69%
自分のきょうだい	427	47	380	146	226	128	299	30%	16%	34%	33%	35%	32%	29%
配偶者の父母	573	140	433	159	269	187	386	40%	46%	39%	35%	41%	47%	37%
配偶者のきょうだい	167	46	121	38	83	56	111	12%	15%	11%	8%	13%	14%	11%
上記以外の親族	92	8	84	25	57	30	62	6%	3%	7%	6%	9%	8%	6%
子どもを通じて知り合った保護者（ママ友、パパ友）	788	51	737	254	468	167	621	55%	17%	66%	57%	72%	42%	60%
ご近所	227	26	201	63	137	48	179	16%	9%	18%	14%	21%	12%	17%
仕事仲間や同僚	222	59	163	138	22	70	152	16%	19%	15%	31%	3%	18%	15%
サークル仲間や参加グループ等	351	12	339	97	235	71	280	25%	4%	30%	22%	36%	18%	27%
友人	599	50	549	218	318	188	411	42%	17%	49%	49%	49%	47%	40%
かかりつけの医師	239	29	210	93	113	84	155	17%	10%	19%	21%	17%	21%	15%
保育園や幼稚園などの先生	507	45	462	213	241	76	431	36%	15%	41%	48%	37%	19%	42%
育児書	302	25	277	101	172	87	215	21%	8%	25%	23%	26%	22%	21%
テレビの情報	132	14	118	40	77	47	85	9%	5%	10%	9%	12%	12%	8%
ネット上の専門的な情報	308	47	261	97	158	111	197	22%	16%	23%	22%	24%	28%	19%
ネット上のクチコミや同じ立場（母親・父親）の情報	248	27	221	87	129	95	153	17%	9%	20%	19%	20%	24%	15%
そのような存在はいない	16	8	8	2	5	4	12	1%	3%	1%	0%	1%	1%	1%
全　体	7,457	1,070	6,387	2,487	3,776	2,101	5,356	-	-	-	-	-	-	-
平均回答数	5.2	3.5	5.7	5.6	5.8	5.3	5.2	-	-	-	-	-	-	-

※平均回答数とは、一人の回答者が選択した項目数の平均を指します
※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（参考：友の会会員対象）友の会会員は、参加グループの仲間が育児の相談相手になる割合が高い

✓ 友の会会員の回答結果をみると、過半数が「サークル仲間や参加グループ等」を育児の相談相手と回答しており、前ページの全回答者の回答率（30%）を大幅に上回る。
また、母親（有職）の「子どもを通じて知り合った保護者」という回答率が高い点も、注目される。

あなたには、子育てで困った時に、相談したり助けてもらえる存在はいますか？いる場合、当てはまる項目すべてをお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	友の会会員全体 n=361	父親全体	母親全体 n=359	母親内訳 有職 n=81	母親内訳 専業主婦 n=278	子ども年齢 0-2才 n=51	子ども年齢 3-6才 n=310	回答者全体	父親全体※	母親全体	母親内訳 有職	母親内訳 専業主婦	子ども年齢 0-2才	子ども年齢 3-6才
配偶者	319	-	317	71	246	42	277	88%	-	88%	88%	88%	82%	89%
自分の父母	273	-	272	62	210	43	230	76%	-	76%	77%	76%	84%	74%
自分のきょうだい	126	-	126	30	96	24	102	35%	-	35%	37%	35%	47%	33%
配偶者の父母	144	-	143	29	114	26	118	40%	-	40%	36%	41%	51%	38%
配偶者のきょうだい	47	-	46	8	38	13	34	13%	-	13%	10%	14%	25%	11%
上記以外の親族	23	-	23	5	18	6	17	6%	-	6%	6%	6%	12%	5%
子どもを通じて知り合った保護者（ママ友、パパ友）	267	-	266	62	204	32	235	74%	-	74%	77%	73%	63%	76%
ご近所	73	-	72	15	57	8	65	20%	-	20%	19%	21%	16%	21%
仕事仲間や同僚	27	-	27	21	6	5	22	7%	-	8%	26%	2%	10%	7%
サークル仲間や参加グループ等	188	-	188	42	146	29	159	52%	-	**52%**	**52%**	**53%**	57%	51%
友人	159	-	159	46	113	24	135	44%	-	44%	57%	41%	47%	44%
かかりつけの医師	59	-	59	14	45	13	46	16%	-	16%	17%	16%	25%	15%
保育園や幼稚園などの先生	147	-	146	38	108	12	135	41%	-	41%	47%	39%	24%	44%
育児書	96	-	96	26	70	16	80	27%	-	27%	32%	25%	31%	26%
テレビの情報	33	-	33	6	27	7	26	9%	-	9%	7%	10%	14%	8%
ネット上の専門的な情報	76	-	76	24	52	16	60	21%	-	21%	30%	19%	31%	19%
ネット上のクチコミや同じ立場（母親・父親）の情報	56	-	56	15	41	15	41	16%	-	16%	19%	15%	29%	13%
そのような存在はいない	2	-	2	1	1	0	2	1%	-	1%	1%	0%	0%	1%
全　体	2,115	-	2,107	515	1,592	331	1,784	-	-	-	-	-	-	-
平均回答数	5.9	-	5.9	6.4	5.7	6.5	5.8	-	-	-	-	-	-	-

※平均回答数とは、一人の回答者が選択した項目数の平均を指します
※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません
※友の会の会員は女性のみのため、父親の回答は記載していません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

母親（有職）では子どもに関する悩みに加え、仕事との両立に悩む。子どもの年齢によっても悩みが変化

- ✓ 全体としては、大きく「子どもに関する困りごと」「親に関する困りごと」に分けられる。
  子どもに関しては、「乳児・低月例期の悩み（離乳食の進め方や夜泣きなど）」「発達・成長（発達障害や成長の遅さなど）」「生活習慣（生活リズム・食事など）」「対人関係（友達とうまく関われない）」が多い。
  一方、親に関しては、「時間のなさ（子どもとゆっくり関われない、自分の時間が持てない）」「仕事（育児との両立）」「夫（多忙などの理由で協力が得にくい）」などが見られる。

- ✓ 父母間では、単語ランキング（次々ページ）において父親の頻出単語トップが「ない」というのが大きな違い。そのほとんどは「（悩み自体が）ない」というものであり、父親は母親ほど悩んでいない。
  母親も頻出単語の2位に「ない」が出てくるが、その件数・割合は父親と比べて少なく（父親は5割に対し、母親は1～2割）、多くの母親は何らかの悩みを抱えている。

- ✓ 職の有無では、同じく単語ランキング（次々ページ）において、母親（有職）で「仕事」「夫」が上位。具体的には、「仕事」の周囲に「子育て／育児ー両立」「病気」「体調」などの単語があり、子どもの急病対応や自身の体調不良などで仕事と育児の両立に困難を感じている様子がうかがえる。仕事と育児の両立に困難を感じているが、そこで不可欠なパートナー（夫）の協力も得られにくい という現状が見られる。

- ✓ 子ども年齢では、0-2才で「離乳食」「夜泣き」「母乳」など、生理的な問題に関する単語が上位。
  それに対して3-6才では、「友達」が浮上。3才まで家で育てられていた子どもも、幼稚園入園などで集団生活を送るようになるため、子どもの対人関係に関する悩みが増えてくるようだ。ただその中には、実際にトラブルがなくても友達関係が築けているかどうかを親が先走って心配するようなコメントも見られる。

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（続き）子育ての困りごと・悩みごと　①父母×職の有無：単語ランキング

- ✓ 父親で「ない」が過半数で1位。その内容は「（悩みごとが）特にない」旨の回答がほとんど（「時間がない」など別の意味での使われ方は1例程度とごくわずか）。母親も「ない」が2位だが、専業主婦・有職ともに件数、割合は非常に低い。
- ✓ 母親の職の有無で見てみると、母親（有職）で「仕事」「夫」が上位。「育児」「両立」の割合も高いことから、仕事と育児の両立や、それに不可欠なパートナー（父親）の協力についての悩みがあると推測される。

※「割合」は各セグメントの人数に対する割合　■ …全体と比較して割合の多い項目　**太字**…そのセグメントで特に注目した項目

No.	全体（1,427人）	件数	割合	父親（299人）	件数	割合	母親（専業主婦）（653人）	件数	割合	母親（有職）（448人）	件数	割合
1	子供	389	27.3%	**ない**	**159**	**53.2%**	子供	226	34.6%	子供	122	27.2%
2	ない	334	23.4%	子供	33	11.0%	ない	83	12.7%	ない	85	19.0%
3	悩む	83	5.8%	言う	10	3.3%	悩む	47	7.2%	**仕事**	**36**	**8.0%**
4	時間	68	4.8%	聞く(否)	9	3.0%	時間	41	6.3%	悩む	29	6.5%
5	言う	60	4.2%	夜泣き	7	2.3%	生活	40	6.1%	子育て	23	5.1%
6	友達	60	4.2%	妻	6	2.0%	食事	39	6.0%	時間	22	4.9%
7	子育て	58	4.1%	教育	5	1.7%	友達	37	5.7%	**夫**	**22**	**4.9%**
8	困る	54	3.8%	仕事	5	1.7%	困る	32	4.9%	育児	20	4.5%
9	生活	54	3.8%	子育て	5	1.7%	多い	31	4.7%	言う	19	4.2%
10	仕事	53	3.7%	多い	5	1.7%	言う	30	4.6%	困る	18	4.0%
11	食事	52	3.6%	体調	5	1.7%	子育て	30	4.6%	保育園	18	4.0%
12	多い	51	3.6%	悩む	5	1.7%	幼稚園	30	4.6%	分かる(否)	17	3.8%
13	分かる(否)	48	3.4%	病気	5	1.7%	食べる(否)	29	4.4%	友達	17	3.8%
14	いる(否)	46	3.2%	いる(否)	4	1.3%	分かる(否)	27	4.1%	離乳食	17	3.8%
15	夜泣き	45	3.2%	育児	4	1.3%	夜泣き	26	4.0%	両立	17	3.8%
16	育児	44	3.1%	叱る	4	1.3%	離乳食	25	3.8%	いる(否)	15	3.3%
17	夫	44	3.1%	成長	4	1.3%	泣く	24	3.7%	多い	15	3.3%
18	離乳食	44	3.1%	対応	4	1.3%	いる(否)	23	3.5%	遅い	14	3.1%
19	食べる(否)	43	3.0%	配偶者	4	1.3%	リズム	23	3.5%	夜	14	3.1%
20	幼稚園	42	2.9%	母	4	1.3%	遅い	23	3.5%	親	13	2.9%
21	遅い	40	2.8%	イライラ	3	1.0%	思う	22	3.4%	成長	13	2.9%
22	病気	39	2.7%	しつけ	3	1.0%	悪い	21	3.2%	体調	13	2.9%
23	泣く	38	2.7%	バランス	3	1.0%	行く	21	3.2%	発達	13	2.9%
24	思う	36	2.5%	わがまま	3	1.0%	時期	21	3.2%	病気	13	2.9%
25	発達	35	2.5%	悪い	3	1.0%	人	21	3.2%	方法	13	2.9%

※単語ランキング：自由記述回答で頻出する単語を多い順に表示。本項では上位25件、全体・父親・母親無職・母親有職のランキングを掲載。

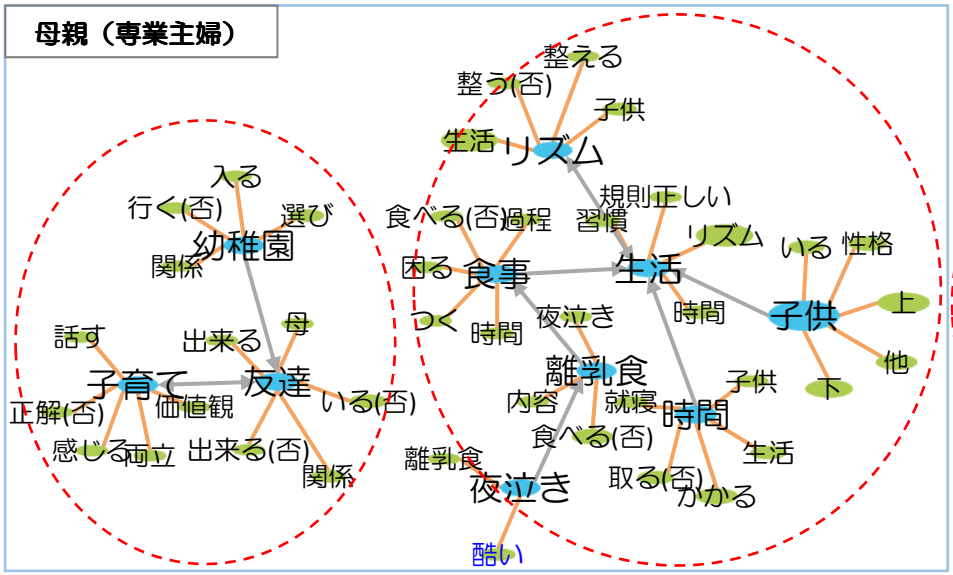
©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

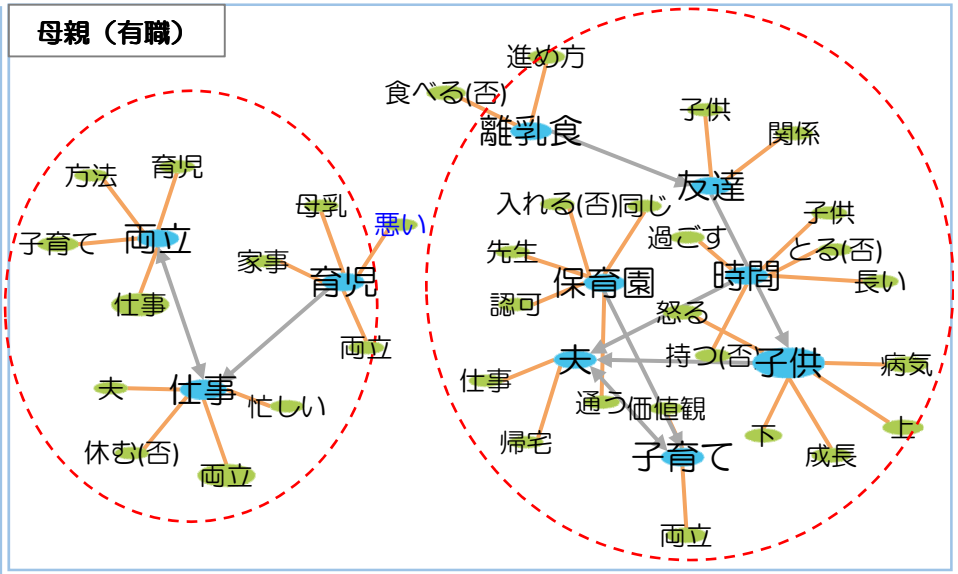
（続き）子育ての困り事・悩み事　②父母×職の有無：ワードマッピング

母親（専業主婦）・母親（有職）・父親について、ワードマッピング※で各属性の回答の特徴を整理した。

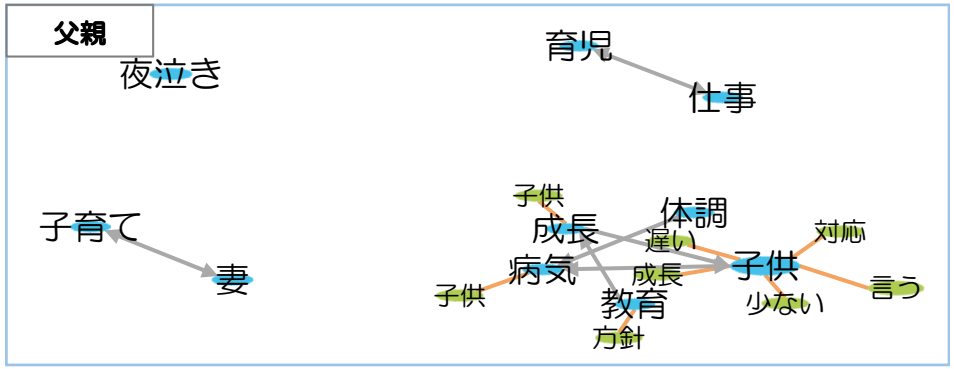
✓ 母親（専業主婦）は、一日の時間の使い方に関する悩み、子どもの社会性や人間関係の悩みに二分される。

✓ 母親（有職）は、仕事・両立という自分の悩みのマッピングが出現しており、育児と仕事の両立に悩む姿がうかがえる。





✓ 父親は、そもそも「（悩みが）ない」との回答が多いため、全体的に出現する単語の種類が少ない。使われる単語も具体性を欠くものがほとんど。



※ワードマッピング：　頻出単語の上位10件と係り受けの関係で登場する他の単語を線でつなぎ、一覧表示したもの。
話題の広がりや話題同士のつながりを視覚的に把握できる。

©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

（続き）子育ての困りごと・悩みごと　③子どもの年齢別：単語ランキング1

- ✓ 0-2才では「離乳食」「食べない」「夜泣き」など、食・睡眠にまつわる問題が上位。
- ✓ 一方、3-6才では、「友達」が上位。あわせて「幼稚園」も浮上していることから、入園後の友達関係についての悩みと推測される。

※「割合」は各セグメントの人数に対する割合　　…全体と比較して割合の多い項目　**太字**…そのセグメントで特に注目した項目

No.	全体(1,427人)	件数	割合	0-2才(396人)	件数	割合	3-6才(1,031人)	件数	割合
1	子供	389	27.3%	ない	97	24.5%	子供	303	29.4%
2	ない	334	23.4%	子供	86	21.7%	ない	237	23.0%
3	悩む	83	5.8%	**離乳食**	**30**	**7.6%**	悩む	66	6.4%
4	時間	68	4.8%	**食べる(否)**	**23**	**5.8%**	時間	55	5.3%
5	言う	60	4.2%	**夜泣き**	**22**	**5.6%**	**友達**	**50**	**4.8%**
6	友達	60	4.2%	育児	19	4.8%	言う	49	4.8%
7	子育て	58	4.1%	仕事	19	4.8%	子育て	43	4.2%
8	困る	54	3.8%	食事	17	4.3%	多い	42	4.1%
9	生活	54	3.8%	悩む	17	4.3%	困る	41	4.0%
10	仕事	53	3.7%	分かる(否)	16	4.0%	生活	40	3.9%
11	食事	52	3.6%	いる(否)	15	3.8%	**幼稚園**	**40**	**3.9%**
12	多い	51	3.6%	子育て	15	3.8%	食事	35	3.4%
13	分かる(否)	48	3.4%	生活	14	3.5%	仕事	34	3.3%
14	いる(否)	46	3.2%	病気	14	3.5%	分かる(否)	32	3.1%
15	夜泣き	45	3.2%	夜	14	3.5%	いる(否)	31	3.0%
16	育児	44	3.1%	泣く	13	3.3%	遅い	31	3.0%
17	夫	44	3.1%	困る	13	3.3%	夫	31	3.0%
18	離乳食	44	3.1%	時間	13	3.3%	発達	30	2.9%
19	食べる(否)	43	3.0%	夫	13	3.3%	ある	29	2.8%
20	幼稚園	42	2.9%	悪い	12	3.0%	思う	29	2.8%
21	遅い	40	2.8%	母乳	12	3.0%	親	29	2.8%
22	病気	39	2.7%	家事	11	2.8%	母	28	2.7%
23	泣く	38	2.7%	言う	11	2.8%	人	27	2.6%
24	思う	36	2.5%	時期	11	2.8%	怒る	27	2.6%
25	発達	35	2.5%	病院	11	2.8%	聞く(否)	27	2.6%

※単語ランキング：自由記述回答で頻出する単語を多い順に表示。本項では上位25件、全体・子ども年齢0-2才・同3-6才のランキングを掲載。

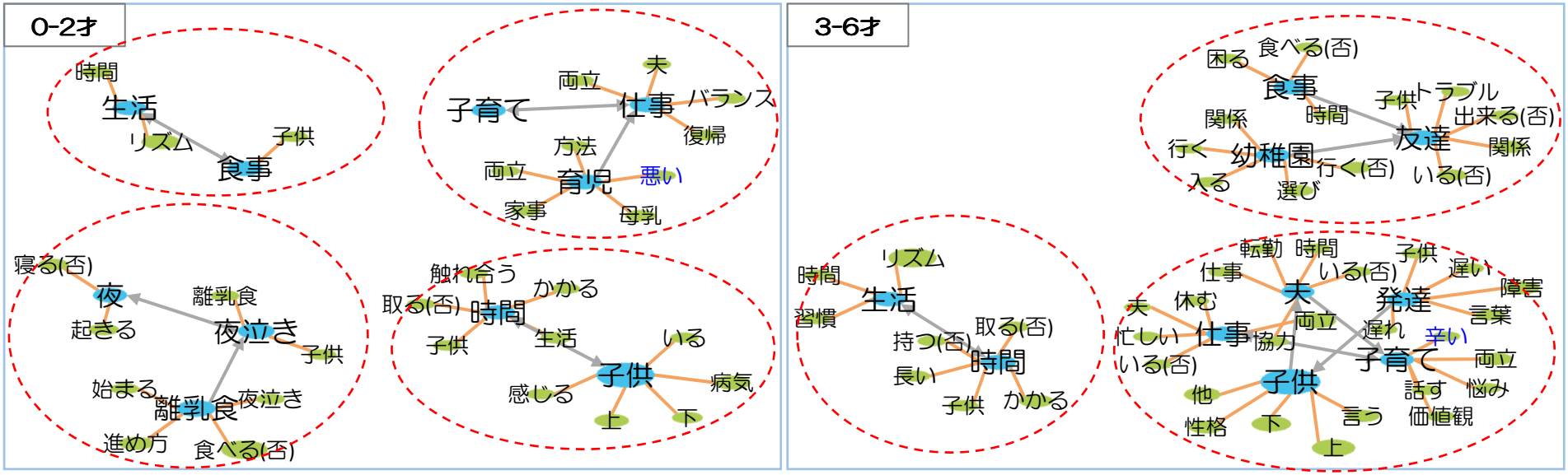
©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（続き）子育ての困り事・悩み事　④子どもの年齢別：ワードマッピング

0-2才・3-6才について、ワードマッピング※で各属性の回答の特徴を整理した。

✓ 0-2才は子どもの生理的な問題や生活習慣などの問題と、仕事との両立など親の問題に分かれる。

✓ 3-6才では「幼稚園」「友達」といったワードから、子どもの人間関係の問題が頻出。また、発達の障害・遅れ関係のワードも見られる。



※ワードマッピング：　頻出単語の上位10件と係り受けの関係で登場する他の単語を線でつなぎ、一覧表示したもの。
話題の広がりや話題同士のつながりを視覚的に把握できる。

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（自由回答抜粋）子育ての困りごと・悩みごと

■子どもの困りごと

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	①泣き声があまりにも大きく、激しく泣いて、泣き止まなかったこと②離乳食を食べたがらなかったこと
母親（有職）	0-2才	離乳食を食べなくて、イライラしたことがあった。今は卒乳がまだで、焦っている。
母親（有職）	3-6才	保育園でお友達との関係に悩んでいる様子があったとき
母親（専業主婦）	0-2才	周りの同じ子供達は離乳食を食べるのに娘だけ離乳食を中々食べなくて困ったり、イヤイヤ期に悩んだりした。
母親（専業主婦）	0-2才	規則正しい生活リズムに乗せるのが大変（食べムラがある、昼寝が夕方になってしまうなど）
母親（専業主婦）	3-6才	性格がおとなしいので、友達とうまくやれているかが　よく気になる。早生まれもあるのか、年長になると、友達より出来ないことがきになりだし、あこがれるものの自信をなくしつつあるなど細かいことでもきになる
父親（有職）	0-2才	突然の発疹など夜間に病院に行くべきかどうかの判断
父親（有職）	0-2才	他の子と比べて遅いことがあると過剰に心配してしまう
父親（有職）	3-6才	子供がなかなかいう事を聞かず、約束も守らないことが多い

■大人の困りごと

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	仕事と育児、家事の両立。子供が病気をした時は特に。自分の時間の確保の仕方。
母親（有職）	0-2才	寝かしつけや夜泣き。平日は夫の帰宅が遅く、子どもの世話をほぼ一人でしていたため、家事がはかどらないときもあり困りました。
母親（有職）	3-6才	仕事と子育てとの両立、注意の仕方について、相談したり、話を聞いてくれる人がいても相談する時間がもてない
母親（専業主婦）	0-2才	主人の仕事が忙しくほぼ一人での子育てで、気が滅入る時がある。
母親（専業主婦）	0-2才	自分が病院にいくときに預けることが、なかなか難しい
母親（専業主婦）	3-6才	自分の時間がない。自分のペースで家事ができないので、家事が中途半端。達成感がない。大人と話がしたい。
父親（有職）	0-2才	平日は、仕事が忙しく育児に参加できない。
父親（有職）	0-2才	はじめてのことだらけで、自分のやり方が正しいのかわからない。それを気軽に聞ける同年代の相手がいない
父親（有職）	3-6才	妻（専業主婦）が余裕がなくなり、家の中が荒れる（散らかしっぱなし、食事の準備を怠るなど）状況になった

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

Ⅱ．育児の実態

Ⅱ．育児の実態　*Summary*

◆母親の53%が毎日読み聞かせを実施。その一方で、低年齢でのIT機器利用の実態も

母親全体では53%が毎日読み聞かせを実施しているが、3才以上では読み聞かせの頻度が低下する。
IT機器は、6割以上が子どもにIT機器を見せたり使わせたりしていると回答。父母や母親の職の有無で差は見られない。
0-2才の子どもでも過半数が経験ありと回答しており、低年齢での利用実態が把握できる。
子どもがIT機器を使うことについて「賛成」の回答は非常に低く、意向と実情のかい離が大きい。
IT機器を使わせているが積極的には使わせたくないという、必要性と懸念の間で迷う親の姿が浮き彫りとなった。

◆母親（有職）や父親は、子どもとの屋外活動や自然に親しむ活動が少ない傾向

子どもの日常的な運動遊びでは、遊具・ボール・乗り物が上位。また「屋外の自然に触れる」も多く、運動＝外というイメージがうかがえる。屋外での活動において、母親（有職）は母親（専業主婦）より回答項目の選択数が少なく、屋外に出向くなどの、ある程度の時間を必要とする運動遊びのバリエーションが、母親（有職）の方が少ない現状がうかがえる。
自然に親しむ活動では、レジャーの一環として「海水浴・川遊び」などで自然に親しんでいる。
全般的に父親・母親　（有職）の回答項目の選択数が少なく、ある程度の時間を必要とする活動は、父親を含む有職者には幅広く実践しにくい実態がうかがえる。

◆意外と多いショッピングセンターで遊ぶケース。親同士の交流ニーズがうかがえる遊び場所も。

「公園やひろばなど屋外」「祖父母など親族の家」が多いが、「ショッピングセンターなど商業施設」も半数近くが利用。
父母・職業の有無による差はない。買い物ついでにショッピングセンターで子どもを遊ばせて、2つの用事を同時に済ませたい親の思いがうかがえる。また、母親（専業主婦）は、「お友達の家」「地域の子育て支援センター」「児童館」なども多い。
子どもの遊びだけでなく、親も交流したいニーズも推測される。

◆低年齢のうちから手伝いの機会を設ける傾向

全体では9割近くが「設けている」と回答。0-2才でも8割弱が手伝いの機会を設けており、早いうちから何らかの手伝いをさせたい意向がうかがえる。手伝いの内容は、全体としては「整理整頓」「配膳」「食事の片付け」がいずれも6割以上で、「物を決まった場所にそろえる」手伝いが中心となっている。

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

母親の53%が、ほぼ毎日読み聞かせを実施。しかし3才以上では読み聞かせの頻度が低下

- ✓ 全体では「ほぼ毎日」が44%、母親全体では53%が毎日読み聞かせを実施。また、8割弱が週1回以上の読み聞かせをしている。
- ✓ 父親は母親に比べて読み聞かせの頻度が低く、ここでも母親が実施する割合が高い。職の有無では「ほぼ毎日」は母親（専業主婦）の方が多いが、それ以下の頻度では母親（有職）と同程度。母親（有職）も専業主婦同様に読み聞かせを実践しており、読み聞かせが重視されている傾向が読み取れる。
- ✓ 子ども年齢では、0-2才は「ほぼ毎日」が半数を占めるが、3-6才ではその割合が42%と少なくなり、3才以上から頻度の低い回答が増えている。それまで家で育てられていた子も幼稚園に入って決まった時間が確保しにくい、また6才近くなると子どもが自分で本を読めるようになり読み聞かせの機会が減る、などの理由が考えられる。

あなたがお子様に「絵本または本」を読み聞かせる頻度について、もっとも近いものをお選び下さい.　（ＳＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031
ほぼ毎日	631	38	593	204	374	198	433
週２－３回程度	321	61	260	106	150	80	241
週１回程度	180	59	121	55	65	41	139
月２－３回程度	91	35	56	30	25	21	70
月１回程度	67	28	39	20	17	15	52
それ以下	64	36	28	16	12	15	49
読み聞かせることはしていない	73	46	27	17	10	26	47
全　体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031

【構成比】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
ほぼ毎日	**44%**	13%	**53%**	**46%**	**57%**	**50%**	42%
週２－３回程度	22%	20%	23%	**24%**	**23%**	20%	**23%**
週１回程度	13%	19%	11%	**12%**	**10%**	10%	**13%**
月２－３回程度	6%	12%	5%	7%	4%	5%	7%
月１回程度	5%	9%	3%	4%	3%	4%	5%
それ以下	4%	12%	2%	4%	2%	4%	5%
読み聞かせることはしていない	5%	15%	2%	4%	2%	7%	5%
全　体	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

約６割がIT機器を利用。親はあやすため、子どもは娯楽目的で利用している

- ✓ 6割以上が子どもにIT機器を見せたり使わせたりしていると回答。父母や母親の仕事の有無で差は見られない。子ども年齢では、0-2才でも過半数が経験ありと回答しており、低年齢でも利用している実態が把握できる。
- ✓ 使用目的は0-2才で「あやすため」が過半数、3-6才では「動画」や「遊び」にシフトしている。低年齢では親の意思で利用、子どもが成長していくと本人の意思で娯楽のために利用している様子がうかがえる。

あなたはお子様に、日常生活で「スマートフォン」「タブレット」「パソコン」などのＩＴ機器を見せたり・使わせたりする機会がありますか。（ＳＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		【構成比】 回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
ある	878	188	690	275	403	213	665	**62%**	62%	61%	61%	62%	**54%**	65%
ない	549	115	434	173	250	183	366	38%	38%	39%	39%	38%	46%	35%
全　体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

前問で「ある」と回答した方へお伺いします。お子様が使う目的について、当てはまるものをすべてお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		【構成比】 回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=878	n=188	n=690	n=275	n=403	n=213	n=665							
学習のため	144	33	111	47	64	18	126	16%	18%	16%	17%	16%	8%	19%
絵本を読むため	26	10	16	12	4	7	19	3%	5%	2%	4%	1%	3%	3%
音楽を聴くため	159	28	131	56	74	36	123	18%	15%	19%	20%	18%	17%	18%
動画を見るため	504	101	403	178	219	95	409	**57%**	54%	58%	65%	54%	45%	**62%**
遊びのため（ゲームなど）	315	84	231	101	125	35	280	**36%**	45%	33%	37%	31%	16%	**42%**
あやす（ご機嫌をよくさせる、静かにさせる）ため	277	56	221	91	128	112	165	32%	30%	32%	33%	32%	**53%**	25%
その他の目的	131	14	117	38	75	33	98	15%	7%	17%	14%	19%	15%	15%
全　体	1,556	326	1,230	523	689	336	1,220	-	-	-	-	-	-	-

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

IT機器を使わせているが積極的には使わせたくない思いもあり、迷う姿が見られる

- ✓ 前問では6割がIT機器を利用しているが、子どもがIT機器を使うことについて「賛成」の回答は非常に低く（母親9%、父親24%）、意向と実情のかい離が大きい。IT機器の利用に対し、不安や戸惑いが存在すると推測される。

- ✓ 全体としては「どちらともいえない」が最も多い。その理由（自由回答・次ページ）を見ると、いずれの立場も
  ・子どもの年齢が*0*～*6*才と低いのでまだ必要ない（将来的には必要）
  ・今の時代にIT機器の利用は避けられない
  という共通認識が存在する。その上で、

  【反対】
  ・刺激が強い
  ・健康面の問題（視力低下、睡眠への影響など）
  ・心理面の問題（依存、想像力を奪う、情報に対して受け身になる、など）
  【（条件つき）賛成】
  ・適切に使えば便利なツール（学習面など）
  ・時間を決めるなど親が適切にコントロールすればいい
  ・与えっぱなし（スマホで子守）にせず、親子で一緒に使う

  の意見に分かれている。

あなたは、お子様がＩＴ機器を「見たり使ったりする事」について、賛成ですか、それとも反対ですか。以下よりもっとも当てはまる項目をお選び下さい。（ＳＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
賛成である	175	74	101	47	52	53	122	12%	**24%**	**9%**	10%	8%	13%	12%
反対である	502	66	436	152	273	129	373	35%	22%	39%	34%	42%	33%	36%
どちらともいえない	750	163	587	249	328	214	536	53%	54%	52%	56%	50%	54%	52%
全　体	1,427	303	1,124	448	653	396	1,031	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（自由回答抜粋）子どものIT機器利用に「賛成」「反対」「どちらともいえない」 理由 -1

■「賛成」の理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	成長していく上で使用することは避けては通れないことであること、正しい使用方法や知識を持つことは良いことだと考えているため。(ただし時間は決める必要はある)
母親（有職）	0-2才	身の回りにあるのが当たり前になってきているので、正しく使って使いすぎなければ構わないと思う。
母親（有職）	3-6才	言語学習に何よりも役立っています。（中略）今は英語のアニメにはまっており、フィリピン人のお手伝いさんとの意思疎通や幼稚園の英語の成績が上がりました。
母親（専業主婦）	0-2才	一人で遊ぶことが困難な場合は、家事をする時など利用してもいいと思います。
母親（専業主婦）	3-6才	IT機器をずっと使ってばかりいるのは問題だと思いますが、上手に取り入れることはいいと思います。時代の変化であり、IT機器を使いこなせることが標準になっていくと思います。
母親（専業主婦）	3-6才	大人も、時にはこどもから離れて、ゆっくりしたいので、IT機器を頼るのは、悪いことではないと思う。
父親（有職）	0-2才	IT機器を全く使えない大人は就職等で苦労するだろうから
父親（有職）	3-6才	言葉を話したり食事をしたりということと同じく、生きていく上で必要なことと考えているため積極的に活用しています
父親（有職）	3-6才	IT機器は使えてあたりまえの時代になるから。

■「反対」の理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	与えてしまったら、ほぼ１００％それにはまってしまうだろう。小さいうちは、絵本や人形、ブロックなどのアナログの遊びを楽しんでほしい。その方が、乳幼児期の発達に適している気がする。
母親（有職）	0-2才	成長するにつれて必然的にIT機器に触れざるを得ないため、小さいうちから使う必要はない。実際に触れて考えて聞いて創造する時間のほうが大切だと思うから
母親（有職）	3-6才	幼い子供の健康（視力）面に良くない影響がありそうだとおもう。刺激が強すぎると思う。静かにじっくり物事に向かうことができないように思う。
母親（専業主婦）	0-2才	絶対反対。ＩＴ機器もテレビも子どもを熱中させる魔力はすごい。もっと家族との会話や直接の接触、体を動かすことに時間を割くべき。
母親（専業主婦）	0-2才	未就学のうちは、できる限り本物、実物に触れさせたいから。IT機器に頼れば、自分は楽になるかもしれないが、親子の会話が減ったり、それに依存したり、目が疲れたりするから。
母親（専業主婦）	3-6才	電磁波などの健康に悪影響を及ぼすかもしれないので、なるべくそういったものに直接触れる機会を遅くしたい（まだ自分で管理できないし）
父親（有職）	0-2才	幼児期は身体を使って体験、経験することが望ましいと考えているので、昨今よく見受けられる幼児のIT機器の利用には反対です。
父親（有職）	3-6才	子供には刺激が強いこと。受動性が強いこと。
父親（有職）	3-6才	小さいうちはそんなに電子機器などに触れる必要がないし、触れすぎると現実の世界を認識する力が成長せず逆に世界を狭くしてしまうと考えるから

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（自由回答抜粋）子どものIT機器利用に「賛成」「反対」「どちらともいえない」 理由 -2

■「どちらともいえない」の理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	今の子供は、将来的にはいずれＩＴ機器を使うことになると思うので、慣れておいたほうがよいと思うが、害もあると思うので、どちらともいえない。
母親（有職）	3-6才	自分で様々な判断が出来ないうちは、あまり接する機会を作りたくないとは思うものの、時代の変化もあり、社会生活に欠かせないものになりつつあるので一概に駄目ともいえず、夫婦でもよく話し合っているところ。
母親（有職）	3-6才	使い方だと思うので賛成も反対もない
母親（専業主婦）	0-2才	使いすぎになるのが不安。大きくなったら使えないと便利だと思うが、子供が使いすぎないように自制することは難しいと思う。
母親（専業主婦）	3-6才	なるべく触れさせないのが理想だが、静かにするために使ってしまうし今は完全に触れさせないことの方が難しい
母親（専業主婦）	3-6才	IT機器は子供の想像力を奪っている気がするから、好きではない。その一方で生活に浸透している分全く無視もできず、その扱いは難題です
父親（有職）	0-2才	インターネットの有効性と危険性について（善悪と言い換えてもよい）判断がつくまでは積極的に使用させるものではないと考えているため
父親（有職）	0-2才	早くからIT機器を見ると会話が少なくなりそう。なるべく対話を心がけている。写真を見せたりはしている。
父親（有職）	3-6才	教育等に有効に使えるツールになる一方、ゲーム等遊びに使うと、それにはまり過ぎて外遊び等をする時間が無くなり、健全な成長に悪影響を及ぼすリスクがあるから。

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

父親・母親（有職）は、日常的な子どもとの遊びバリエーションが少なめ

- ✓ 遊具・ボール・乗り物が上位。また「屋外の自然に触れる」も多く、運動＝外というイメージがうかがえる。
- ✓ 屋外での活動において、母親（有職）は母親（専業主婦）よりやや平均回答数（回答項目の選択数）が少ない。屋外に出向くなど、ある程度の時間を必要とする運動遊びのバリエーションが、母親（有職）は少ない事が分かる。 運動遊びを取り入れる保育園が多いため、「屋外の遊びは保育園に一任」と割り切っている可能性がある。
- ✓ 父親の回答選択数は、母親（有職）よりさらに低いが、肩車や「高い高い」、ボール遊びなどの選択は母親よりも多い。身体を使った気軽な運動遊びは、父親にも実践しやすい運動遊びとして定着している様子。

以下の運動遊びについて、お子様と日常的にしているものを全てお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
肩車や「高い高い」などをする	515	185	330	131	193	214	301	36%	**61%**	29%	29%	30%	54%	29%
ボール等で遊ぶ	858	189	669	247	405	256	602	**60%**	**62%**	60%	**55%**	**62%**	65%	58%
屋外の遊具で遊ぶ	896	162	734	262	459	203	693	**63%**	53%	65%	**58%**	**70%**	51%	67%
水遊び	318	41	277	98	173	61	257	22%	14%	25%	22%	26%	15%	25%
自転車・三輪車などに乗る	707	114	593	225	355	87	620	50%	38%	53%	50%	54%	22%	60%
木登り	76	7	69	24	45	4	72	5%	2%	6%	5%	7%	1%	7%
でんぐり返し	360	51	309	112	193	59	301	25%	17%	27%	25%	30%	15%	29%
なわとび	294	42	252	95	154	8	286	21%	14%	22%	21%	24%	2%	28%
屋外の自然に触れる	833	133	700	263	424	192	641	**58%**	44%	62%	**59%**	**65%**	48%	62%
その他	148	13	135	46	87	42	106	10%	4%	12%	10%	13%	11%	10%
上記のことをした事がない	45	10	35	24	11	18	27	3%	3%	3%	5%	2%	5%	3%
全　体	5,050	947	4,103	1,527	2,499	1,144	3,906	-	-	-	-	-	-	-
平均回答数	**3.5**	**3.1**	**3.7**	**3.4**	**3.8**	**2.9**	**3.8**	-	-	-	-	-	-	-

※平均回答数とは、一人の回答者が選択した項目数の平均を指します
※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

父親・母親（有職）は、子どもと自然に親しむ活動バリエーションも少なめ

- ✓ 全体では「海水浴・川遊び」が6割。レジャーの一環として自然に親しんでいる様子がうかがえる。
- ✓ 活動の種類に関わらず、全体的に父親・母親（有職）の平均回答数（回答項目の選択数）が少ない。
  前ページの運動遊び同様、ある程度の時間を必要とする活動のため、父親含む有職者は実践しにくい可能性がある。

以下の自然に親しむ活動について、お子様と一緒にした事があるものを全てお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
ハイキング	609	96	513	175	326	99	510	43%	32%	46%	39%	50%	25%	49%
海水浴・川遊び	878	156	722	270	438	131	747	**62%**	51%	64%	60%	67%	33%	72%
星を見る・お月見	818	101	717	271	433	133	685	57%	33%	64%	60%	66%	34%	66%
お花つみ	767	85	682	240	430	124	643	54%	28%	61%	54%	66%	31%	62%
虫捕り	593	90	503	167	327	42	551	42%	30%	45%	37%	50%	11%	53%
魚釣り・つかみ取り	327	48	279	94	177	27	300	23%	16%	25%	21%	27%	7%	29%
虫の音や鳥の鳴き声を聴く	761	71	690	238	439	151	610	53%	23%	61%	53%	67%	38%	59%
花や野菜を育てる	798	99	699	255	433	86	712	56%	33%	62%	57%	66%	22%	69%
動物を飼育する	417	73	344	124	213	59	358	29%	24%	31%	28%	33%	15%	35%
その他	119	14	105	29	75	30	89	8%	5%	9%	6%	11%	8%	9%
上記のことをした事がない	149	56	93	45	46	112	37	10%	18%	8%	10%	7%	28%	4%
全　体	6,236	889	5,347	1,908	3,337	994	5,242	-	-	-	-	-	-	-
平均回答数	**4.4**	**2.9**	**4.8**	**4.3**	**5.1**	**2.5**	**5.1**	-	-	-	-	-	-	-

※平均回答数とは、一人の回答者が選択した項目数の平均を指します
※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

母親（専業主婦）は親も交流できる場を多く利用

- ✓ 半数以上が利用している施設は「公園やひろばなど屋外」「祖父母など親族の家」。利用可能な時間帯（施設）や受け入れの有無などを気にせず、思い立ったときにすぐ利用できる場所だからではないか。
- ✓ 「ショッピングセンターなど商業施設」も半数近くが利用。父母・職業の有無による差はない。買い物ついでにショッピングセンターで子どもを遊ばせて、2つの用事を同時に済ませたい親の思いがうかがえる。
- ✓ 母親（専業主婦）は、「お友達の家」「地域の子育て支援センター」「児童館」なども多い。子どもの遊び相手だけでなく、親も交流できる場としてニーズが推測される。

お子様は、在園する幼稚園や保育園以外に、遊びや保育などでどのような場所や施設を利用しますか。以下からあてはまるもの全てをお選び下さい。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,427	n=303	n=1,124	n=448	n=653	n=396	n=1,031							
公園やひろばなど屋外	1,235	245	990	377	592	283	952	**87%**	81%	88%	84%	91%	71%	92%
お友達の家	712	92	620	210	394	168	544	50%	30%	55%	47%	**60%**	42%	53%
祖父母など親族の家	846	147	699	303	383	240	606	**59%**	49%	62%	68%	59%	61%	59%
地域の子育て支援センター	434	54	380	121	246	177	257	30%	18%	34%	27%	**38%**	45%	25%
自治体の交流イベント	243	28	215	73	133	73	170	17%	9%	19%	16%	20%	18%	16%
保育園の交流イベント	177	35	142	72	64	72	105	12%	12%	13%	16%	10%	18%	10%
児童館	401	51	350	105	234	113	288	28%	17%	31%	23%	**36%**	29%	28%
ショッピングセンターなど商業施設	681	153	528	217	300	168	513	48%	**50%**	**47%**	48%	46%	42%	50%
保育園・幼稚園の一時保育	230	36	194	67	123	34	196	16%	12%	17%	15%	19%	9%	19%
商業施設の一時保育	36	7	29	15	13	7	29	3%	2%	3%	3%	2%	2%	3%
それ以外の場所・施設	171	31	140	51	87	32	139	12%	10%	12%	11%	13%	8%	13%
当てはまる施設がない（自宅の庭で遊んでいる）	51	23	28	16	12	30	21	4%	8%	2%	4%	2%	8%	2%
全　体	5,217	902	4,315	1,627	2,581	1,397	3,820	-	-	-	-	-	-	-

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

低年齢のうちから手伝いの機会を設ける傾向、整理整頓や食事前後の手伝いが多い

- ✓ 全体では9割近くが「設けている」と回答。0-2才でも8割弱が手伝いの機会を設けており、早いうちから何らかの手伝いをさせたい意向がうかがえる。
- ✓ 手伝いの内容（次ページ）は、全体としては「整理整頓」「配膳」「食事の片付け」がいずれも6割以上で、「物を決まった場所にそろえる」手伝いが、子どもに取り組ませやすいと考えられている。
- ✓ 母親の回答をみると、「料理」も約半数が担当させており、やや難しい手伝いにも積極的に取り組ませている様子がうかがえる。

あなたは、日常的にお子様が「お手伝い」をする機会を設けていますか？（ＳＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,199	n=249	n=950	n=376	n=556	n=179	n=1,020							
設けている	1,052	198	854	333	507	140	912	**88%**	80%	90%	89%	91%	**78%**	89%
手伝いはさせていない	147	51	96	43	49	39	108	12%	20%	10%	11%	9%	22%	11%
全　体	1,199	249	950	376	556	179	1,020	100%	100%	100%	84%	85%	100%	100%

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

低年齢のうちから手伝いの機会を設ける傾向、整理整頓や食事前後の手伝いが多い

前問で「設けている」と回答した方へお伺いします。どのようなことをお子様にお手伝いをさせていますか？以下より当てはまるものをすべてお選びください。
お子様がまだ一人でするのが難しい年齢の場合は、ご一緒にしている家事を、以下より当てはまるものをすべてお選びください。（ＭＡ）

【件数】

	回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢		回答者全体	父親全体	母親全体	母親内訳		子ども年齢	
				有職	専業主婦	0-2才	3-6才				有職	専業主婦	0-2才	3-6才
	n=1,052	n=198	n=854	n=333	n=507	n=140	n=912							
お料理	483	50	433	160	264	49	434	46%	25%	**51%**	48%	52%	35%	48%
配膳	674	111	563	209	343	60	614	**64%**	56%	66%	63%	68%	43%	67%
食事の片付け	688	108	580	218	347	71	617	**65%**	55%	68%	65%	68%	51%	68%
整理整頓	678	121	557	208	339	80	598	**64%**	61%	65%	62%	67%	57%	66%
お掃除	351	62	289	107	175	55	296	33%	31%	34%	32%	35%	39%	32%
お風呂掃除	154	20	134	50	82	14	140	15%	10%	16%	15%	16%	10%	15%
洗濯	76	8	68	28	37	10	66	7%	4%	8%	8%	7%	7%	7%
洗濯物干し	217	21	196	72	121	42	175	21%	11%	23%	22%	24%	30%	19%
ごみ捨て	259	37	222	95	123	50	209	25%	19%	26%	29%	24%	36%	23%
新聞とり	151	25	126	49	76	13	138	14%	13%	15%	15%	15%	9%	15%
その他	190	11	179	49	126	21	169	18%	6%	21%	15%	25%	15%	19%
特にない	4	1	3	0	3	1	3	0%	1%	0%	0%	1%	1%	0%
全　体	3,925	575	3,350	1,245	2,036	466	3,459	-	-	-	-	-	-	-

※母親の内訳は、有職／専業主婦以外（その他）も存在するため、合計は「母親全体」に一致しません

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

手伝い＝自立へのファーストステップ。ほめて認めると同時に、挫折させない工夫も

- ✓ 手伝いを重視する理由からは、「家族」「一員」「自立」という頻出単語が示すように、「家族の一員としての責任を持たせる」「自立心を育てる」など、家庭における自立した一員として子どもを認めている姿勢がうかがえる。
  また、「子どもが手伝いをやりたがるので、その気持ちを摘まないように」と、子どもの自発的な行動もきっかけになっている。

- ✓ 手伝いをさせる方針・心がけとしては、「ほめる、感謝の気持ちを伝える」が多数。また、「時間がかかっても待つ」「失敗してもしからない」と、手伝いの効率や実利を求めないことも挙げられた。しかし、実際にはなかなか理想通りにいかない旨の回答も見られた。

- ✓ 「できる範囲で」「無理はさせない」「適切な声かけ」など、挫折させない工夫も挙げられた。

- ✓ いずれも、父母・職の有無・子ども年齢による違いは見られない。

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（続き）手伝いをさせている理由、手伝いをさせるときの工夫　①全体：単語ランキング

- ✓ 上位の「家族」「一員」というワードは、「家族の一員として役割を持たせる」という主旨の回答が多いことによる。
- ✓ 「褒める」「ほめる」「楽しむ」「感謝」などのワードも多い。手伝いをさせる工夫として、興味を持たせることや感謝の気持ちを伝えることなどが重視されている傾向がうかがえる。

No.	単語	品詞	件数	割合
1	**出来る**	**動詞**	**281**	**19.7%**
2	**やる**	**動詞**	**271**	**19.0%**
3	**子供**	**名詞**	**198**	**13.9%**
4	する	動詞	128	9.0%
5	お手伝い	名詞	117	8.2%
6	思う	動詞	110	7.7%
7	言う	動詞	108	7.6%
8	家族	名詞	103	7.2%
9	一緒	名詞	89	6.2%
10	ない	形容詞	83	5.8%
11	手伝う	動詞	79	5.5%
12	持つ	動詞	76	5.3%
13	本人	名詞	75	5.3%
14	一員	名詞	74	5.2%
15	気持ち	名詞	63	4.4%
16	伝える	動詞	63	4.4%
17	させる	動詞	62	4.3%
18	楽しい	形容詞	61	4.3%
19	褒める	動詞	61	4.3%
20	興味	名詞	58	4.1%
21	やらせる	動詞	56	3.9%
22	ほめる	動詞	52	3.6%
23	助かる	動詞	48	3.4%
24	出来る(否)	動詞	43	3.0%
25	心がける	動詞	41	2.9%

No.	単語	品詞	件数	割合
26	付ける	動詞	41	2.9%
27	家事	名詞	36	2.5%
28	料理	名詞	36	2.5%
29	感じる	動詞	34	2.4%
30	楽しむ	動詞	31	2.2%
31	願う	動詞	30	2.1%
32	時間	名詞	29	2.0%
33	考える	動詞	28	2.0%
34	身	名詞	28	2.0%
35	良い	形容詞	28	2.0%
36	手	名詞	27	1.9%
37	手伝い	名詞	27	1.9%
38	役割	名詞	27	1.9%
39	感謝	名詞	26	1.8%
40	必要だ	形容詞	26	1.8%
41	今	名詞	25	1.8%
42	簡単だ	形容詞	24	1.7%
43	人	名詞	24	1.7%
44	かける	動詞	23	1.6%
45	生活	名詞	23	1.6%
46	片付け	名詞	23	1.6%
47	毎日	名詞	23	1.6%
48	失敗する	動詞	22	1.5%
49	習慣	名詞	22	1.5%
50	やる気	名詞	21	1.5%

…手伝いをさせている理由に関連する単語
…手伝いをさせるときの工夫に関連する単語

※単語ランキング：自由記述回答で頻出する単語を多い順に表示。本項では属性で傾向差が見られないため、全体のランキングのみ、上位50件を表示。

©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

（自由回答抜粋）手伝いをさせている理由、手伝いをさせるときの工夫

■手伝いをさせている理由

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	なるべく自分のことは自分でするのが当たり前なのだということを早くからわかってもらいたいと思っている。
母親（有職）	0-2才	何でもしたがるから、簡単にできることを。達成感を味わわせたい。
母親（有職）	3-6才	家族の一員として本当に助けてもらいたいし、助け合う喜びみたいなものを備えていてもらいたいから。
母親（専業主婦）	0-2才	家族の一員として、小さくても仕事を任せている
母親（専業主婦）	0-2才	生活にかかわることは、勉強がよく出来ることよりも人間として一番大切だと思うので、小学生になる前に、一通り自分でそれなりに出来るようになって欲しいと思うから。
母親（専業主婦）	3-6才	家族の一員として。役にたてるという自信ができる。
父親（有職）	0-2才	家族の一員として、自分に任せられた仕事をきちんとやる、責任感をもってほしいと思っている。自立への一歩。
父親（有職）	3-6才	誰かのためにすることの大切さと喜びを感じてほしいと思っています。
父親（有職）	3-6才	手伝いをさせているのではなく、子供が自発的に手伝おうとしているので、それを習慣化させているだけ

■手伝いをさせるときの工夫

回答者属性	子ども年齢	回答内容
母親（有職）	0-2才	きちんとお手伝いしてほしい旨を伝え、本人に了解をもらったうえでお願いする。できたら、助かったありがとうと伝える。
母親（有職）	0-2才	自分の力で生きて行ける子にしたい。危ないことは手を添えて一緒にするが、任せても良いことはある程度まで一人でさせる。失敗しても叱らないで、どうすれば良かったか教える。手伝ってくれたらハグをしてお礼を言う。
母親（有職）	3-6才	自分のことは自分でしてほしい。子どもがしやすいように準備する。踏み台をよういする、こぼしてもいいようにするなど
母親（専業主婦）	0-2才	まずは怪我しないように。本人が達成感を得られるように。
母親（専業主婦）	0-2才	一緒にやる、または見守る、助かったよ、ありがとうと感謝し、お姉さんだね、などほめる言葉をかける。
母親（専業主婦）	3-6才	お手伝いしやすい環境に整えること。おもちゃ等が片付けやすい、お料理ならキッチンが片付いていて、危ない物がないように等。
父親（有職）	0-2才	出来たら褒める。自分のしたことで誰かが喜ぶことの嬉しさを感じてもらう。
父親（有職）	0-2才	自信を持たせるように心掛けている。
父親（有職）	3-6才	楽しそうにしているから危ないことは、手伝えないようにしている熱いものや包丁などは先に自分が済ませる

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

付 記：
U6保護者の座談会　発言概要

６才以下の子どもを持つ保護者座談会：実施概要

U6プロジェクトメンバーがアンケート結果をよりリアルに理解し、6才以下の子どもを持つ母親・父親の実態像の共通認識を持つため、母親・父親を対象とした座談会を開催。

■実施目的
・6才以下の子どもを持つ母親・父親、および家庭の実態把握
・6才以下の子どもを持つ家庭をとりまく今の環境や、生活習慣におけるリアルな課題の抽出

■実施形態
座談会は「夫婦を中心に参加（3組の夫婦＋2名の母親）」「母親のみ参加」の2回実施
①自由学園卒業生が中心。母親・父親（夫婦）で参加
②自由学園の関係者以外が中心　母親のみ対象

■実施日時
①2015年10月　②2016年2月
会場はいずれも自由学園幼児生活団内にて

■参加者

2015年10月		
母親	Aさん	3児（初等部・5才・1才）の母 専業主婦
父親	Bさん	Aさんの夫。父が神戸生活団で過ごす
母親	Cさん	2児の母 専業主婦
父親	Dさん	Cさんの夫
母親	Eさん	1児（2才）の母 時短勤務中。祖母の手助けで子どもを送り迎えしている
父親	Fさん	Eさんの夫
母親	Gさん	3児の母
母親	Hさん	2才・5才児の母

2016年2月		
母親	Iさん	1児（3才）の母。子どもは保育室を利用、4月より公立保育園に通う予定 フルタイム勤務（7:40にでかけ、18:00に戻る）
母親	Jさん	1児（3才）の母。 子どもは保育室利用だが、4月から幼児生活団4才組に進級 フルタイム勤務（18時すぎに退社なのでお迎えに間に合わない）。 送り迎えは祖父母
母親	Kさん	1児（3才）の母。 フルタイム、時短勤務（大手書店に勤務し、17時に退社しお迎えが17:40頃）
母親	Lさん	2児（4才、1才）の母 在宅勤務

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

座談会　テーマ(1)　子どもとの関わりについて

- ✓ 母親との議論では、「煮詰まる」という表現が頻繁に出た。アンケートでは、有職の母親が子どもと接する時間が限られることから「子どもとじゅうぶん関われていない」と考える傾向がある一方、接する時間が長い専業主婦や育休中の母親は、子どもとのコミュニケーションが行き詰まる悩みを持っている事が明らかになった。「子どもと離れる時間を持ちたい」という意見もみれた。

- ✓ 父親・母親それぞれに、時間がなくて子どもの要望に応じきれない悩みを持っている。一方、「紙飛行機を外で飛ばしている時に、心が通じ合っていると感じる」など、接する時間量とは無関係に、子どもと深く関われる実感の意見もあった。

■子どもとの関わりに関する座談会発言（概要）

1回目 2回目	属性	発言者	発言概要
①	母親	Cさん	時間的にはじゅうぶん関われているが、一緒に居ながらつい邪険に扱ってしまう。子どもと向き合う＝子どもの話をキチンと聞く、ととらえているが、家事作業している時に話しかけられると、顔を向けて返事するなどはしていない。
①	母親	Gさん	自分も同じ。時間に追われているため、子どもが泣いても放置する時がある。子どもは待ちかねたように夕方わーっと話しかけるが、自分がじゅうぶん相手してあげられず、泣いてしまうことがある
①	母親	Aさん	子どもと100%じゅうぶん関われている、という母は存在しないのではないか
①	父親	Bさん	週末は、朝、子どもたちと過ごし方の時間割を作り、何時に遊ぶ、など親子で決める。子どもと紙飛行機を作って外で飛ばしている時に、心が通じ合っていると感じる
①	父親	Dさん	子どもは構ってほしがるが、自分にその時間がない。たとえば自転車に乗りたがるが、大人の事情でNoと言ってしまう。大人のやりたいこと、子どものやりたいことのすり合わせが必要と感じている
②	母親	Jさん	義父母とは、子育て方針を巡り葛藤はあったが、感謝はしている。義母のよいところが備わった（よく笑う等） 子どもと関わる時間が少ないので、仕事を辞めることにした。勤務時間をもっと短くしたい 保育園は19時まで預かってもらえるとベスト。しかし20時には寝かせたいと思うと、それより遅い時間までの利用はできないと感じる
②	母親	Iさん	日中は仕事でリフレッシュして、お迎え後の夜の時間は子どもと濃密に過ごせるのでよい。 育休中は、一緒に居る時間が長すぎて、よく煮詰まっていた。煮詰まると自己嫌悪になるので、離れる時間が持てる今はよい
②	母親	Kさん	仕事を辞めて子どもと接したい、、という葛藤が常にある。しかし、辞めたらまた煮詰まるのか、とも思う
②	母親	Lさん＋皆	「煮詰まる」というのは、閉ざされた空間に母子のみでいる時間が長いから起こる感情では？ （今の子育て特有の現象、もしくは、昔からあった現象だが「煮詰まる」という表現をしなかっただけ、等の意見あり）

©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

座談会　テーマ(2)　育児や家事の夫婦間分担について

- ✓ 夫婦で育児・家事の諸作業を分担する家庭、母親がメインでこなす家庭などケースは様々。
- ✓ 分担している家庭は、曜日や内容で担当を分担するなど、各家庭でルールがある。生活の中で蓄積された具体的なルールやノウハウを参加者が興味深く聞いており、夫婦の役割分担の情報に触れる機会が少ない（潜在的なニーズがある）と考えられる。
- ✓ 相手からの配慮や、相手が子どもに与える影響など、互いの違いや特性を理解・納得していると、メイン担当の母親側に不満が生まれない傾向が、発言からうかがえた。

■育児、家事の分担に関する座談会発言（概要）

1回目 2回目	属性	発言者	発言概要
①	父親	Eさん	営業で忙しいが、19時には帰宅してお風呂と寝かしつけを交代で対応。夫婦間では「手伝って“あげる”」が禁句。家事がどんどんやっつけ仕事になっていると感じる。 早退3回で休暇1回にカウントされる会社のルールがあるため、早く帰るためには会社制度面のサポートもほしいところ
①	母親	Hさん	家事育児はほとんど自分。父はお昼寝に付き合う程度、おむつ（うんち）も替えられない。ただ、子育てしながら父母で役割が違う、、と気づくようになった
①	母親	Gさん	子どもが3人いるので、父が担当せざるを得ない。平日は帰宅が遅いので、週末まとめて対応。土日の家事育児は父担当。 子どもの体調悪化など、急な状況に対応できるような、会社の柔軟な体制が必要と感じる
②	母親	Iさん	（夫は）保育室への送りを担当してくれるが、家事については指示がないと動かない
②	母親	Jさん	（夫は）困った時には助けてくれる。自分からはしてくれないが、こちらが困った時に動いてくれるので、それでいいやと思っている
②	母親	Kさん	（夫は）母子乳以外の家事・育児はすべてやってくれる。義母のそのような方針で教育していた
②	母親	Lさん	（夫は）忙しいので、あまり頼れない。ファミリーサポートは登録してあるが、実際のところは1回も使っていない

 ©JiyuGakuen U6 Project 無断転載を禁じます

座談会　テーマ(3)　近所付き合いや身近の相談相手について

- ✓ 子どもが自由に外で遊べない（大きな声を出せない、近隣の目が気になる）悩みを持つ母親がいて、深く悩む様子もうかがえた。子どもが思いきり遊べる空間が減少し、親のニーズも強いと推測される。
- ✓ 近所付き合いは、積極的にする人としない（できない）人に分かれる。仕事で日中不在にしたり生活時間の余裕のなさから、近所や同じ園の保護者と会えなかったり話せなかったりするケースが特徴的。
  つながりたいニーズを持つ人同士が集い、コミュニケーションのきっかけが持てる場へのニーズの強さがうかがえた。
- ✓ 子育てサポートなど外部サポートを、「全く知らない人に頼みにくい」ゆえ利用していない、との意見あり。
  外部サービスの利用ニーズは確実に存在するので、心理的ハードルを下げる検討が必要。

■近所付き合い・身近な相談相手に関する座談会発言（概要）

1回目 2回目	属性	発言者	発言概要
①	母親	Gさん	東京に来て、子どもが自由に声を出せない環境が辛い（周囲がじろっと見る気がする）
①	母親	Hさん	子どもが外で遊ぶことを快く思わない近隣が居て、引っ越した
①	母親	Hさん	自分はご近所のつながり大事にしている。声かけあう等
①	母親	Gさん	子育てサポートは使っていない。いざという時に電話するのにハードル感じるし、全く知らない人に頼みにくい。自分は祖父母にサポート受けている
①	母親	Aさん	市の一時保育利用。登録が大変だったが、以降は楽。ちょっとした時に頼めるので、なくてはならない存在。ご近所では、2軒先に親しいお宅が居て助かる
②	母親	Jさん	ふだんの送り迎えは義父母が担当。帰宅が遅いため、近隣の人たちとは全く顔を合わせない
②	母親	Kさん	近隣の人たちとは挨拶のみ 本当は同じ園のママたちと交流したいが、朝夕は慌ただしく挨拶のみで、同じ園でもお互いを知らない人も居る。
②	母親	Iさん	育休の間に、意識的に地域のママ友を作るようにし、仕事復帰後も交流している。なので孤独感はない
②	母親	Lさん	上の子のつながりが中心で、下の子のつながりが弱い。最近引っ越したこともあり、地域に知り合いが居ない。なので行政のイベントに積極的に参加している。

©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

座談会　テーマ(4)　IT機器との接し方について

- ✓ 子どもにスマホ・タブレット・PCなどのIT機器を触れさせている親がほとんど。
「どう遊ばせてよいか分からない」「手持ち無沙汰」など、子どもの要求ではなく親の都合で触れさせている実態もうかがえた。

- ✓ 子どもがIT機器に触れることについて、「大人と一緒に楽しめば、コミュニケーションの一環としてよい」という意見はあったが、一部で先々の成長（脳の動きなど）に与える懸念の意見が複数見られた。IT機器利用については、漠然と不安感を持つ参加者が多く、信頼できる情報が存在しない点が、さらに不安感を増長させている様子。

■IT機器との接し方に関する座談会発言（概要）

1回目 2回目	属性	発言者	発言概要
①	母親	Eさん	保育園連れていくために動画を見せる時がある。IT機器は親都合で触れさせている
①	父親	Bさん	子どもとどう接していいか分からない時がある。そういう時にスマホを見せる。子どもの反応をみて、次どうしようと考えている。
①	父親	Fさん	2才の子どもが、スマホのアプリや音声検索を使いこなしている。幼少期の使用が、先々の成長に与える影響が心配
②	母親	Jさん	勝手にスマホを持ちだし、写真を見ることが多い。 夫や義父が、スマホを積極的に見せていて、いかがなものかと思う。どう接してよいか分からない時に見せているようだ
②	母親	Iさん	自分から子どもに見せようとは思わないが、手持ち無沙汰の時には、ドラえもんなどの動画を見せることがある。 今の時期にスマホを見せるのは、反対。今後スマホとの関わりは避けられないのだから、今の時期はそれ以外で楽しんでほしい
②	母親	Kさん	スマホを見せても、子どもだけ見せっぱなしにするのではなく、一緒に楽しんでいるのであれば、コミュニケーションの一環としてよいのでは、と思う
②	母親	Lさん	これまでテレビを見せなかったが、朝限定でEテレのが番組をiPadで見せるようになった。子どももそれを楽しみにしている。 スマホで写真を見せると喜ぶ（自分やお友達が移っていると喜ぶ） 以前、IT機器を早期に見せると、前頭葉の動きが緩慢になると聞いた

 ©JiyuGakuen U6 Project　無断転載を禁じます

U6ファミリー 1,400人アンケート（『６才以下のお子様に関するアンケート』報告書 ）

発行者：学校法人　自由学園　U6プロジェクト
集計・分析：自由学園 U6プロジェクト アンケートチーム　　担当：リサーチャー 石井順子
問合せ先：自由学園広報本部　　担当：椚田（くぬぎだ）
〒203-8521　東京都東久留米市学園町1-8-15
TEL　042-428-2122
FAX　042-422-1070
E-mail　u6u12@jiyu.ac.jp